

あいち 食育いきいきレポート2022



2022年10月 愛知県食育推進会議

はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、2021年3月に第4次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2025」を作成しました。

このプランで掲げた「これまでの取組の継承とSHIN化」により食育の実践力を高めていくために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、2021年度に行われた県内の食育の取組の中から、特に①新規の取組又は5年以上継続して行われている取組、②新しい生活様式・デジタル化に対応した取組③他の機関と連携して行われた取組などをレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

各マークの説明



健康な体



豊かな心




環境に優しい暮らし



食育を支える

目次

章	項目	ページ 番号
I	「あいち食育いきいきプラン2025」について	3
II	特集(1)第6回食育活動表彰について	5
	特集(2)あいち“いきいき食育”絵画コンクールについて	7
III	2021年度の主な取組の状況	9
	 食を通じて健康な体をつくる取組	9
	1 ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践	9
	2 生活習慣病予防や適正体重維持の推進	17
	3 食の安全・安心に関する信頼の構築	21
	 食を通じて豊かな心を育む取組	22
	1 食を楽しむゆとりの積極的な確保	22
	2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	27
	3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	31
	 食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組	34
	1 食生活における環境への配慮の徹底	34
	2 農林水産業への理解と地産地消の推進	36
	3 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底	39
	 食育を支える取組	41
	1 食育にかかる人材の育成と活動の充実	41
	2 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用	43
	3 いいともあいち運動の推進と充実	44
IV	県や関係団体の取組一覧	45
V	食育推進に関する問い合わせ先	59

I 「あいち食育いきいきプラン2025」について

- 「あいち食育いきいきプラン2025」（第4次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づく愛知県の食育推進計画で、2021年4月からスタートしました。
- あいち食育いきいきプラン2025は、「健康な体」「豊かな心」「環境に優しい暮らし」「食育を支える」を食育の取組の柱に据え、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- プラン2025は愛知県の第4次計画として、これまでの取組を継承するとともに、多様な主体同士の連携や新しい生活様式の実践、SDGs達成への貢献などを踏まえ、取組を“SHIN化”（新化・進化・深化・伸化）させ、食育の実践力を高めていきます。

“SHIN化”って？

「新化」...時代に合わせた変化
「進化」...多様な発展
「深化」...質の向上
「伸化」...横展開のつながり

「S」...Sustainable (持続可能な)
「H」...Healthy (健康な)
「I」...Interesting (興味深い)
「N」...Network (連携)

食育の実践による健康で活力ある社会の実現



- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健全で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



○食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

保幼[※] 保育所・幼稚園・認定こども園
学校 小学校～大学
職場 勤務先
地域 その他の場所
※「保幼」「学校」には特別支援学校を含む

■取組の体系

			保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくる取組	ライフスタイルに即した バランスのとれた 食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
		エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進		●	●	●
		カ 働く世代に対する食育の推進			●	●
		キ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
		ク 高齢期における食による健康維持の推進				●
		生活習慣病予防や 適正体重維持の推進	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●	
イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●		●			
ウ 思春期からの適正体重の維持の推進			●			
エ 職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進				●	●	
オ 地域における健康寿命延伸につながる食育の推進					●	
食の安全・安心に 関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化の推進				●	
	イ 食の安全・安心に関する情報提供と理解促進		●		●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●	
	エ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●			
食を通して豊かな心を育む取組	食を楽しむゆとりの 積極的な確保	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●		
		イ 家族や友人と食事をとるための環境整備			●	●
		ウ 子どもや高齢者等の「こゝ食」への対応	●	●	●	
食を通して豊かな心を育む取組	体験や交流を通じた 豊かな人間性の育成 と食の理解促進	ア 乳幼児期における食とふれあう機会の確保	●			●
		イ 少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実		●		●
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●
食を通して豊かな心を育む取組	日本の食文化や 郷土料理等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得	●	●		●
		イ 給食等における地産産物や郷土料理等の導入促進	●	●	●	
		ウ 日本型食生活 ^{注1)} の推進、郷土料理等地域の食文化の継承		●		●
食を通して暮らしを環境に優しい 暮らして環境に優しい取組	食生活における環境 への配慮の徹底	ア 持続可能な暮らしのための環境学習の推進		●		●
		イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践				●
		ウ 環境に配慮した食生活の実践				●
食を通して暮らしを環境に優しい 暮らして環境に優しい取組	農林水産業への理解と 地産地消 ^{注2)} の推進	ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進				●
		イ 給食等による子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●		
		ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●
食を通して暮らしを環境に優しい 暮らして環境に優しい取組	農林水産業や食品関連産業に おける環境への配慮の徹底	エ 直売所における生産者と消費者の交流促進				●
		ア 農林水産業における環境への配慮				●
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物等の削減				●
食育を支える取組	食育にかかる人材の 育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●		
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●
		ウ 愛知県食育推進ボランティア ^{注3)} の育成と活動の充実				●
食育を支える取組	多様な関係者による役割分担 とネットワークの活用	エ 食育を担う多様な人材の育成と活動の促進				●
		ア 活動主体同士の情報共有と連携のさらなる強化	●	●	●	●
		イ ネットワークを活用した関係者間の情報共有				●
食育を支える取組	いいともあいち運動 ^{注4)} の 推進と充実	ウ 食育に関する情報発信の充実				●
		ア 運動の定着促進				●
		イ 協働活動の充実				●
食育を支える取組	いいともあいち運動 ^{注4)} の 推進と充実	ウ 積極的な情報発信による県産農林水産物の利用拡大				●

II 特集(1) 第6回食育活動表彰について

農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、全国各地で食育の推進に取り組む者の功績を称えるとともに、その取組の内容を広く周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、2016年以降、毎年農林水産省が表彰しており、その年の食育推進全国大会において、表彰式や事例発表会が行われています。

2022年、第17回食育推進全国大会inあいちの中で行われた第6回表彰では、碧南市の長田勇久氏が農林水産大臣賞を、岡崎市の公益財団法人岡崎市学校給食協会が消費・安全局長賞を受賞されましたので、活動内容についてご紹介します。

食育活動表彰の詳細については、農林水産省のホームページを参考にしてください。

農林水産省HP 食育活動表彰

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/index.html>



ボランティア部門
食育推進ボランティアの部
農林水産大臣賞

長田 勇久氏（碧南市）

地元の食材・食文化を料理人の立場から伝える、オンラインも活用した食育活動

持続可能な食に繋がる地域の食材と発酵文化の魅力、旬の大切さを料理人の立場から多くの人に伝えるため、自ら経営する「日本料理 一灯」を拠点として、大学での公開講座、伝統野菜や醸造文化の研究と発信、小中学校や栄養教諭等への料理講座などの多彩な活動を、生産者や食品事業者と協力し、Webも駆使して展開しています。



店舗では、食材、調理方法、食文化、旬の説明に時間をかけ、会話を通じてお客様の意向把握に努めています。

また、「あいち在来種保存会」や「南三河食文化研究会」など地元の団体に主体的に関わる中で生産者や食品事業者との交流を深め、生産物の知識を深め、つくり手の熱い想いを知るとともに、各種イベントの企画を相談し、立案に役立てています。



オンラインイベントについては、大学教授や他の料理人とオンラインで随時ミーティングを行い、各回の参加者とはチャットを活用して意見交換を行うことにより、分かりやすく楽しい学びとなるよう工夫しています。

教育関係者・事業者部門
教育等関係者の部
消費・安全局長賞

公益財団法人 岡崎市学校給食協会（岡崎市）

飛び出す給食センター調理員
子どもたちとの交流を深めるこころ豊かな食育活動

給食センター内で調理業務を行う調理員たちが本来の業務の枠を飛び出し、自由なアイデアで手作りローカルヒーローや夏休み限定の調理場疑似体験イベントなど、園児・児童・生徒との交流ができる企画を創出、継続展開することで、多くの子どもたちに対して理想的な食生活や食品ロスの啓発を行っています。

独自のローカルヒーロー（給食戦隊ツクルンジャー）による食育ショーではオリジナル台本を作成し、子どもたちが楽しく参加しながら理想的な食生活を学ぶO×クイズや、みんなの力で悪役をやっつける演出を取り入れ、成功体験として印象・記憶に残るように工夫しています。

限定施設見学イベントでは、給食調理の疑似体験を通じて給食調理の大変さを体験してもらうとともに、ガイドを務める調理員の生の言葉で、調理に携わる人たちの想いや給食の食べ残しについて話し、食事に対する意識変化を促せるように心がけています。



表彰の様子



Ⅱ 特集(2)

あいち“いきいき食育”絵画コンクールについて

食育について家庭や子どもたちに考えていただく機会とするため、「たのしい食卓、おいしいごはん」をテーマとした「あいち“いきいき食育”絵画コンクールを開催しました。

応募作品は総数672点に上り、厳正なる審査の結果、合計30点を入賞作品として決定し、金・銀・銅賞の受賞者には6月18日の食育推進全国大会会場で表彰を行いました。



[あいち“いきいき食育”絵画コンクール概要]

- 募集期間：2021年12月1日～2022年2月28日
- 対象：県内小学生及び小学部の児童
- 募集テーマ：『たのしい食卓、おいしいごはん』
「家族のたのしい食卓」、「好物を食べたときのうれしい笑顔」、「料理の手伝い」、「我が家のおすすめメニュー」など、広く「食育」を対象にした自由題材。
- 主催：愛知県、第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会、(株)地域文化社
- 後援：東海農政局、愛知県教育委員会、(公財)愛知県学校給食会、(公社)愛知県栄養士会
- 協賛：セントラル画材(株)
- 応募総数：672点

あいち しょく いく “いきいき食育” 絵画コンクール

募集テーマ たのしい食卓、おいしいごはん
「家族のたのしい食卓」、「好物を食べたときのうれしい笑顔」、「料理の手伝い」、「我が家のおすすめメニュー」など、広く「食育」を対象にした自由題材。

応募期間 令和3年12月1日(水)～令和4年2月28日(月)必着

応募資格 愛知県内の学校に在学の小中学生及び小学部の児童

主催：愛知県、第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会、株式会社地域文化社
後援：東海農政局、愛知県教育委員会、公財愛知県学校給食会、公社愛知県栄養士会
協賛：CENTRAL セントラル画材株式会社

第17回 食育推進全国大会
あいち
2022.6/18日・19日
Aichi Sky Expo (愛知県総合展示場)

応募要項 **参加賞引換券**

募集テーマ：「たのしい食卓、おいしいごはん」
「家族のたのしい食卓」、「好物を食べたときのうれしい笑顔」、「料理の手伝い」、「我が家のおすすめメニュー」など、広く「食育」を対象にした自由題材。

応募期間：令和3年12月1日(水)～令和4年2月28日(月)必着

応募資格
愛知県内の学校に在学の小中学生及び小学部の児童
※募集期間中の在学期間で審査を行う。

応募締切
八つ切り厚紙版(27センチ×39センチ ヨコのみ)
題材は、クレヨン、色鉛筆、絵の具、カラーペンなど自由
自作の未発表のもので1人1点まで

応募方法
応募用紙(下部)に必要事項を記載し、作品を貼った厚紙版の裏面左下に貼り付け、応募先まで送付
※応募用紙はコピーでも可

応募先
〒451-0021 名古屋天塚郵便局
「あいち“いきいき食育”絵画コンクール事務局」宛

お問い合わせ先
あいち“いきいき食育”絵画コンクール事務局
専用ダイヤル：070-8981-3848 (平日 10:00～17:00)

審査員
美術関係者ほか7名程度
公平かつ厳正な審査のもと、受賞作品を決定します。

表彰
学芸ごとに金賞、銀賞、銅賞を1点ずつ選出。
金賞は主催および後援団体から、銀賞、銅賞は第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会から賞状を授与し、主催者から額を贈呈。

入賞発表
入賞者には3月下旬に結果を通知します。
入賞作品は会場に展示し、応募者には第17回食育推進全国大会会場にて参加賞を配付します(配送は行いません)。

※入賞作品は第17回食育推進全国大会会場内で行います。
※入賞作品は会場に展示し、応募者には第17回食育推進全国大会会場にて参加賞を配付します(配送は行いません)。

※(注意事項)
※作品の郵送はいたしません。
※応募資格について同一学年の権利は主催者に帰属します。
※応募作品は大会記録、立派等で使用させていただきますが保証はしません。
※ご記入いただいた個人情報等は本コンクールに限り関係する目的に限り、それ以外の目的での使用や第三者に提供することはありません。

第17回 食育推進全国大会IP

あいち“いきいき食育”絵画コンクール 応募用紙

※必要事項を記載し、作品を貼った厚紙版の裏面左下に貼り付け、応募先まで送付してください。

学校名	立	学年	年
ふりがな	姓	男	女
住所	愛知県 市・町・村	TEL	-

絵のタイトル

絵のせつめい (100字程度) →



大会公式ホームページから抜粋

愛知県栄養士会賞



よしだ あやな
1年 吉田 彩那
半田市立宮池小

いっしょにのりまきをたべよう

愛知県学校給食会賞



おおたけ つかさ
2年 大竹 司紗
江南市立門弟山小

大きなおもいがほれたよ

第17回食育推進全国大会
愛知県実行委員会賞



くろだ ゆうり
3年 黒田 侑里
刈谷市立日高小

楽しいおいしい潮干がり

東海農政局長賞



いわた わこ
4年 岩田 羽子
名古屋市立名城小

感しゃの気持ちをわすれずに
「いただきます」

愛知県知事賞



おおた
5年 太田 いつき
犬山市立犬山西小

ボンボン びよーん

愛知県教育委員会賞



なかむろ つづ
6年 中室 綴
名古屋市立東志賀小

伝えたい。
たくさんの「ありがとう」。

表彰の様子

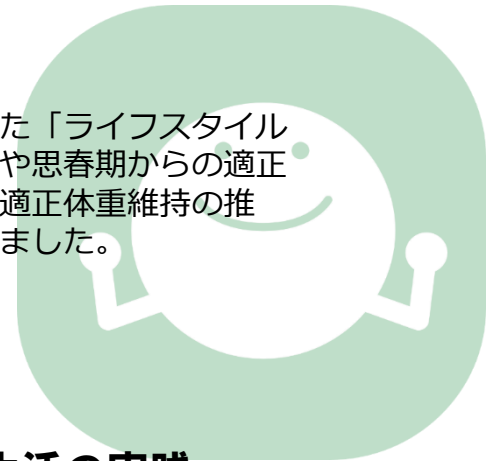


Ⅲ 2021年度の主な取組の状況

2021年度に県や関係団体などが実施した食育の取組で、報告のあった268件から項目ごとの主な取組65件を掲載しました。

食を通して健康な体をつくる取組

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践」、子供の肥満予防や思春期からの適正体重の維持の推進、職場等での健康指導など「生活習慣病や適正体重維持の推進」及び「食の安全・安心に関する信頼の構築」に取り組みました。



1 ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践

1 歳児、2 歳児・2 歳6 か月児歯科健康診査時の集団栄養指導

稲沢市保健センター

- 実施時期：1 歳児歯科健康診査、2 歳児・2 歳6 か月児歯科健康診査
- 対象者：市内に住む歯科健康診査対象児の保護者

●内 容

歯科健康診査に来た幼児の両親にこの時期の食事での気を付けてほしいことや意識してほしいことを伝え、毎日の食生活に活かしてもらうことを目的としています。

1 歳児歯科健康診査ではパネルを使用しこの時期のおやつを取り入れ方、2 歳児・2 歳6 か月児歯科健康診査では、「おやつの量と質（砂糖）」についてフードモデルを使用して集団栄養指導を行っています。

●活動の成果、今後の課題

集団栄養指導をしている際に、聞きながら聞いていたり、ときにはメモを取りながらと熱心に聞いてくださる方が多いです。またその後に個別に質問に来てくださることもあります。しかし、集団栄養指導をした結果、それを行動に移したか等のアウトプットができていないことが今後の課題であると感じています。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）

食育に関する子育て講座の開催

刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター

●実施時期：2021年10月5日、12月13日、2022年1月17日

●対象者：未就園児をもつ保護者

●内容

7か月から就園前のお子さんをもつ保護者対象に『食育の大切さ』という演題で開催しました。コロナ禍の中での開催の為に保護者が参加しやすいように10月、12月オンライン開催、1月託児あり対面講演で行いました。

●活動の成果、今後の課題

子育ての中の保護者に「健全な食生活を実践することができる人間を育てることの大切さ」を感じてもらい、知識を得て、家庭で少しでも実践してもらうことを目的に、普段口にして飲んでいる飲料の中に実際にどれだけの砂糖が含まれているか、また一日に必要な野菜の量がどれだけの食品サンプルを使って目で見て分かりやすいように実施しました。

参加者からは「食育の大切さを改めて分かり食事を見直してみようと思った」「食事のみならず生活習慣の大切さ、子育てを楽しむコツをたくさん聞けてよかった」という意見が聞かれました。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）

離乳食を始める前に（4か月児健診の場を活用）

豊川市保健センター

●実施時期：通年

●対象者：4か月児の保護者

●内容

ベビーフードとして3か月頃から甘い飲み物が市販されるようになり、安易に、または必要なものと考えて与えたために母乳やミルク・離乳食の妨げや、甘い食べ物の習慣化に繋がっていることから、離乳食を始める前の時期に啓発の必要を感じ、この取組を始めました。

以前はミニ講話を管理栄養士または歯科衛生士が実施していましたが、現在は実施方法を動画上映としています。健診の参加者全員にリーフレットを配布し、待ち時間に動画を上映して啓発しています。

●活動の成果、今後の課題

1歳6か月児の甘い飲み物を毎日摂取する割合が減少傾向を示しています。また、若い世代へ、本市の2大健康課題である糖尿病とう蝕についての啓発機会となっています。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）

しいたけを育ててみよう

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（西尾市立鶴城幼稚園）

- 実施時期：6月～7月
- 対象者：年長児
- 内 容

園庭の隅にキノコが生えているのを見つけた5歳児がシイタケ栽培に興味をもち、育ててみることになった。市内にシイタケの原木栽培をしている方がみえたので話を聞くことにした。西三河農林水産事務所林務課の方も来てくださって「水が循環している」話も聞くことができた。シイタケ栽培にはシイタケ菌、水、菌床、気温が必要であると聞いた。シイタケ栽培をしながらどうしたらたくさん収穫できるか試行錯誤しながらつづけた。できたシイタケを調理して給食の時に食べることができた。



●活動の成果、今後の課題

園庭に生えたキノコをきっかけにシイタケ栽培に挑戦することになった。きゅうりやトマトなどと違い太陽光はなくてもよいなど発見がたくさんあった。シイタケ栽培農家の方にも疑問に思った事を聞くなどで、今まであまり関心のなかったシイタケにも興味がわいた。原木栽培も行えるとよかったが、時間がなく残念だった。



取組項目：給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進（取組場面：保幼）

おいしく食べて みんなにここにこ

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（名古屋市立比良西幼稚園）

- 実施時期：2021年11月24日
- 対象者：幼児及び保護者 教師
- 内 容

幼稚園が弁当のため、幼児も保護者も小学校給食に不安がありました。就学前に小学校の栄養教諭から小学校給食について話を聞く機会をもちたいと考え、給食メニューや使用する食器の紹介、栄養、食の大切さ等についてのセミナーを開催しました。親子で三大栄養「赤、黄、緑」をバランスよく食べることの大切さを聞きました。その後、保護者対象に小学校給食の配膳の仕方や地元食材の利用、給食メニューの紹介と調理方法、保護者との質疑応答等を行いました。



●活動の成果、今後の課題

参加者からは、家庭でご飯を食べる時も「子どもと『赤と緑と黄色、全部食べたね』と会話しながら食べています」「子どもと一緒に参加したことで食についての知識を共有できてよかったです」「給食のレシピを作って食べました。美味しかったです」などの言葉が聞かれました。食育への関心が高まり、とても好評でした。今後も継続していきたいと考えています。



取組項目：給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進（取組場面：保幼）

「碧南人参の日」に合わせた「へきなん美人」メニューの給食提供

碧南市内の保育園・幼稚園15園

- 実施時期：2022年1月21日
- 対象者：3歳～5歳児 約1,700名
- 内 容

碧南市はニンジンの生産が盛んなまち。毎年1月23日を「1（いい）・23（にんじん）」のごろ合わせて「碧南人参の日」と定めています。それに合わせ、特産ニンジン「へきなん美人」を使って、給食に「碧南人参ご飯」を、おやつに「人参ドーナツ」を提供し、園児と楽しく学びながら食べました。また、保育士が葉付きのニンジンを見せながら市内でたくさんニンジンを作っていることや、病気に負けない体をつくる栄養があることなどを園児に伝えました。



●活動の成果、今後の課題

葉付きのニンジンに触れたり、包丁で切って中身を観察したりして関心を深めていた。また、調理されたものを味わう中で柔らかくなることや甘くなることに気づき、苦手な子も口にしてみる姿が見られた。碧南市はニンジンがたくさん採れることを知り喜び子もいた。



●連携について（連携先：JAあいち中央碧南人参部会）

碧南の子供たちに、碧南特産ニンジンである「へきなん美人」のおいしさと地域を代表する野菜であることなどを伝えるため、1月23日の「碧南人参の日」に合わせてJAあいち中央碧南人参部会が市内の幼稚園・保育園・小中学校に給食の材料として「へきなん美人」を無償提供しています。



取組項目：給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進（取組場面：保幼）

学校で使用する食育教材「あいちの農産物資料集」の作成

愛知県栄養教諭研究協議会

- 実施時期：通年
- 対象者：県内の公立学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員
- 内 容

本協議会の重点課題に「野菜を食べる習慣を身に付ける」「地場産物の活用」があります。令和3年度は、あいちの農産物25品目について、小学生向けに野菜の特徴をクイズ形式で楽しく学ぶパワーポイント、中学生向けに資料集として農産物の情報や教科との関連を掲載したパワーポイントを作成しました。児童生徒がタブレットを使ってクイズに答えたり、調べ学習をしたりしています。また、栄養教諭が給食の時間に大型テレビに映して給食に使用されている農産物について伝えたり、印刷して掲示資料にしたりと、さまざまな場面で活用しています。



●活動の成果、今後の課題

小学校では、クイズを解いた児童から「楽しく野菜のことが分かった」との声が聞かれました。中学校では、タブレットを使い、資料集の中から給食に使われていた食材を調べ、教科等で学んだ内容を振り返る生徒がいました。今後は、さまざまな教科で調べ学習や発表の資料に使用できることを教員に伝え、広く活用できるようにしていきたいと思えます。



●新しい生活様式への対応について

児童・生徒がタブレットを使用して、各自で内容を確認できるようにしました。



取組項目：学校給食の「生きた教材」としての活用、学校全体で食育に取り組むため、給食と各教科等を関連づけた指導計画の作成と指導の充実（取組場面：学校）

学校教育支援事業（出前講座）

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

- 実施時期：通年(小学校40校、中学校10校)
- 対象者：県内小中学生、教職員、保護者(希望者)
- 内 容

学校から生活習慣（食事含む）や「朝食の大切さ」、「朝食と生活リズム」、「食事バランス」等について講話をしてほしいという要望を受け、子どもの食生活等に関する出前講座を開催しています。

令和3年度は小中学校50校、計10,159人に出前講座を実施しました。食育の推進に関しては、講座の中で「朝食の大切さ」や「朝食をしっかり食べるにはどんな生活習慣に気を付けたらよいか」、また「バランスのとれた食事をとるための工夫」などについて、教材を用いながら紹介しました。

●活動の成果、今後の課題

講座前後のアンケートから、「毎日朝食を食べようと思う」という意欲が高まったことがわかりました。また、担当教員からは、生活習慣アンケートの結果からデータをまとめて示してくれたので、興味を持ちやすく生活に密着してよかったという感想を頂きました。コロナ禍で子供の生活習慣の乱れが指摘されていますが、今後も継続して児童生徒の生活習慣改善に向けた健康教育を実施していきます。

●新しい生活様式への対応について

本年度は感染症対策により、学校からの要望に応じて、放送室や保健室で講座を実施し、各クラスに配信したり、当センターからWeb形式で出前講座を実施するケースもありました。



取組項目：地域人材を活用した体験的な活動の充実（取組場面：学校）

碧南市地産地消推進協議会自主事業「ニンジン講習会」

碧南市立大浜小学校、日進小学校

- 実施時期：2022年2月3日、2月8日
- 対象者：大浜小学校91名、日新小学校66名
- 内 容

農村輝きネットあいちの技人・前浜ひまわりが講師となり、碧南市で栽培される特産農産物をテーマにした出前講座を実施しています。その農産物ができるまでの栽培過程、碧南市で発展してきた背景や経緯、栄養、おいしい食べ方などをゲームやクイズを織り交ぜながら話します。日進小学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、碧南市特産ニンジン「へきなん美人」を使って、講師がいる家庭科室と児童の教室をZOOMで繋ぎ、リモートによる講習会を開催しました。



●活動の成果、今後の課題

リモートで講習会をするのは初の試みで、講師も児童も多少のタイムラグや意思疎通の難しさを感じましたが、今後も継続して、地元農産物の食育を続けていくには、よい試みかと感じました。児童は、講師の調理の様子を見て、その後配られたニンジンを触れたり匂いを嗅いだり喜んでいました。



●新しい生活様式への対応について

例年対面で調理実習を行っていましたが、コロナ禍で実施が難しくなりました。日進小学校では、講師のみが別室でニンジンゼリーを作り、児童はZOOMで見て学習するという「デモンストレーション講座」形式を取りました。以前から続いている講座を中止するのではなく、新しい形を取り入れて食育を進めていきます。



取組項目：地域人材を活用した体験的な活動の充実（取組場面：学校）

良いきゅうりの日～ふれあい授業と学校給食への寄贈～

西尾市産業部農水振興課

- 実施時期：4月16日
- 対象者：市内小中学生
- 内 容

西三河地域（JAあいち中央、JA西三河）の生産者で組織する「西三河冬春きゅうり部会」が、地元の小中学生に地元産きゅうりをPRし、食や農業に対する関心を高めてもらおうと、良いきゅうりの日（4月19日）にちなみ、安城市と西尾市の学校給食用に新鮮なきゅうりを寄贈しました。あわせて、生産者が小学校1校に出向き、きゅうりに関する授業を実施し、安城市長及び西尾市長へのきゅうりの寄贈、量販店でのPR活動を行いました。



●活動の成果、今後の課題

地元生産者が講師となり、パワーポイントやきゅうりの実物を使い、楽しく分かりやすい授業を実施しました。その後、授業実施クラスでは、きゅうりの1本丸かじりを実施しました。地元の農産物等を理解することができる大変良い機会でした。



取組項目：地域人材を活用した体験的な活動の充実（取組場面：学校）

健康朝食メニュー「簡単！グッドバランス！朝ごはん ～元気のスイッチを入れよう～」（コンテスト）

尾張旭市、尾張旭市教育委員会

- 実施時期：2021年12月1日～2022年1月11日
- 対象者：小中学校生徒及び一般
- 内 容

朝食の欠食や孤食を防ぎ、朝食の大切さを再確認し、毎朝朝食をとるきっかけとなるように「簡単！グッドバランス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」というタイトルで、市内小中学校、一般からの朝食のメニューを募集しました。

簡単で作りやすく、三色食品群による栄養バランスが取れ、毎日食べられる工夫を凝らしたメニュー93件の応募がありました。

今年も応募用紙を簡潔にして応募しやすくしたことで、昨年より30件ほど応募数が増加しました。

●活動の成果、今後の課題

野菜を中心として、栄養バランスを考えたメニューを多数考案してもらえました。小学生だけでなく、中学生からの応募も増え、食事内容の質についての意識が年々高くなっているように思われます。

来年もウェブでの応募を引き続き実施し、一般の応募の増加を図ることが必要と考えます。

●連携について(連携先：尾張旭市教育委員会)

市民が栄養バランスの取れた食生活を送るためのきっかけづくりとして、子どものうちから朝食の欠食や孤食を防ぎ、規則正しい食習慣を身に付けてもらうため、市教育委員会（養護教諭部会）と連携しました。

市長賞



教育委員会教育長賞



取組項目：「早寝早起き朝ごはん」運動の実践促進（取組場面：地域）

高校生を対象とした食育講座の実施

豊田市

- 実施時期：11月18日
- 対象者：杜若高等学校 創造コース1年生 77名
- 内容

高校生の野菜摂取に対する意識改善と摂取量増加に繋げることで、食生活を見直し、望ましい食生活を身に付けることを目的に、オンラインでの授業を実施しました。

当日は会場を市役所と高校（3クラス）に分けて授業を行いました。市役所では、司会を務める高校生2名と職員2名が野菜の分類や必要性、簡単な野菜レシピ等をクイズやデモを通して紹介し、高校では1人ひとりが持つタブレットからクイズの解答や自分が実践できそうな野菜摂取の取組等を回答して貰いました。

オンライン、タブレット授業により、生徒全員の意見を視覚化し、反映させることで、より深い学習内容としました。



●活動の成果、今後の課題

事後アンケートにより、参加者の8割以上が授業に前向きに取り組めたと回答し、約7割が野菜摂取に関する意識に変化があったと回答しました。

「野菜を毎日食べようと思った」「野菜を積極的に食べていこうと思った」等の声が聞かれ、野菜摂取に対する意識を持ってもらう良い機会となりました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



●連携について(連携先：(学)名鉄学園 杜若高等学校)

コロナ禍において、対面での取組が難しい中、杜若高等学校はオンライン、タブレット授業を積極的に実施しており、オンラインにおける生徒への指導法を熟知している。そこで、杜若高等学校と連携することで、効果的な指導が可能と考えたため。



取組項目：保健体育・家庭科等における啓発資料の活用、教職員研修の充実、ホームルーム活動等を活用した食育推進（取組場面：学校）

地元スーパーと協働で開発した健康弁当を販売。中食での食生活改善の取組

東海市市民福祉部健康推進課

- 実施時期：8月28日～9月30日（東海荒尾店以外は8月31日まで実施）
- 対象者：特に不規則な食生活になりがちな若い世代や働き盛り世代、スーパー来客者
- 内容

コロナ感染拡大の影響により、家で食べる中食（弁当や総菜の購入など）の需要が増加しています。

そこで、東海市の健康応援メニュー（エネルギー800kcal以下、バランスが取れている、野菜量140g以上、食塩相当量3.3g以下）の基準を満たした弁当をマックスバリュ東海と、東海市健康づくり食生活改善協議会と協働で開発し、マックスバリュ東海 182店舗（愛知県、三重県、静岡県、滋賀県、岐阜県、神奈川県、山梨県の店舗）にて販売しました。販売実績 全店合計5,449個、東海荒尾店433個（1日平均16個）

●活動の成果、今後の課題

野菜を140g取ることができ、また、トマトやだしの旨味を活用することで、1個あたり食塩相当量1.5gのお弁当を作ることが出来ました。

弁当の購入者からは「彩りが良い」「美味しい」「野菜がたくさんでうれしい」等、内容に満足する声を聞くことができました。食生活改善について、広く周知することができました。

●新規取組について

愛知県は野菜の摂取量が少ないこともあり、野菜がしっかりとれる弁当の開発を目指しました。地元スーパーと連携することで、健康に無関心な方でも、健康弁当を手にとってもらう機会となることが期待されます。



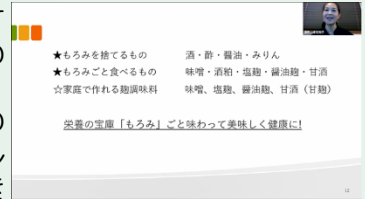
取組項目：働く世代が健康に働くための食生活の実践啓発（取組場面：職場、地域）

令和3年度子育てカレッジ「食べるということ～発酵食品で免疫力アップ～」

刈谷市

- 実施時期：7月1日
- 対象者：市内在住、在勤または在学の育児中の女性
- 内 容

子育てカレッジ「子育て中だからこそ自分らしさを大切にしよう」をテーマとする全6回講座の1講座で、「発酵食品」から食を学び、子どもや家族、自分自身の食事について考える契機とすることを目的にオンラインで開催しました。当日は、食育トレーナーの山本佐知子氏による発酵食品の役割や食事による体への影響などについての講演後、グループワークを通して参加者同士の交流を行いました。（当日参加者：13名）講座の様子は後日動画サイトに掲載し、当日参加できなかった方も含め、アーカイブ視聴できるようにしました。



●活動の成果、今後の課題

講座後に行ったアンケートでは、7割の方が講義内容について「よかった」と回答し、「発酵食品や食事のことなど様々なことが勉強になった」「栄養面に気をつけていきたい」「体の声に耳を傾けて自分のための食も考えていきたい」などの声が寄せられました。食を通して、子どもや自分の体に目を向けるきっかけとなりました。



●連携について(連携先：MIX(子育てカレッジ修了生グループ))

子育てカレッジの企画や運営は、MIX（子育てカレッジ修了生グループ）と協働して行っています。受講生と同じ母親目線での企画提案の一助となっています。



取組項目：母親教室等での健康教育や情報提供、授乳期以降の食の重要性の啓発
(取組場面：地域)

高齢者のフレイル予防対策事業（栄養・歯科）

日進市健康課

- 実施時期：10月から12月
- 対象者：出前健康教室を希望される老人クラブの参加者
- 内 容

後期高齢者医療被保険者数の増加、保険給付費の増加、1人当たり医療費・介護給付費も増加傾向にあります。要介護者の有病状況は、1位心臓病、2位筋・骨格、3位精神疾患です。医療費においても筋・骨格は多く、フレイル対策が必要です。フレイルの概念を理解し、予防する食事やオーラルフレイルについての知識を周知・普及することで、低栄養予防や食生活や口腔機能等を改善し、健康寿命の延伸へ繋げることを目指します。

健康課の歯科衛生士や管理栄養士や保健師が講話を行った後、質問票の記入とその解説を保険年金課職員が行い、その後にしん体操を実施し、希望者には、血圧測定と健康相談を行う内容になります。また、継続して筋トレを希望される方にはDVDの貸出を行いました。

●活動の成果、今後の課題

18回実施し338人の参加者へ、情報提供や啓発をすることができました。今後も多くの方へ、フレイル予防の取組が周知・実践されるよう対策が必要です。

●新規取組について

老人クラブでの健康教育は保健師や看護師等が毎年行っていますが、今回はフレイル予防について、管理栄養士や歯科衛生士や民生委員や地域福祉課職員を加え他職種が連携・協力することで、地域の方の支援や見守りに繋げることもできました。



取組項目：食育関係者による料理教室や市町村の高齢者向け栄養改善教室などの実施拡大
(取組場面：地域)

高齢男性を対象とした栄養教室

刈谷市

- 実施時期：11月～12月、2022年1月～2月
- 対象者：市内在住の65歳～69歳男性
- 内 容

高齢社会を迎え、65歳以上の夫婦二人世帯や一人暮らしの世帯が増加しています。介護予防の観点のもと、栄養バランスや調理の基本を身につけ、日常生活における自立を促すとともに、参加者同士の交流を深めて閉じこもりを予防することを目的に教室を開催しました。

教室の内容は、食材の切り方、噛むことについて、調味料の計量、健康日本21かりや計画、野菜の摂取、栄養バランスについての講義及び調理実習です。5回で1コースとし、計2コース実施しました。参加者は合わせて21名でした。

●活動の成果、今後の課題

全ての参加者が食材を切ること、調味料の計量を実習することができました。また、参加者からは、「教室参加前より、食事の量や内容を気にするようになった」「家でもやってみようと思った」などの意見が多くあり、事業の目的を達成することができました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。

●継続した取組の変遷について

2014年度以前は4回で1コースでしたが、調理の難易度を少しずつ上げるため、2015年度から1回増やし、5回で1コースとして実施しています。

また、知識や技術の定着には継続的な実践が必要であるため、2018年度からフォローアップ教室を開催しています。（2020年度はコロナのため中止）



取組項目：食育関係者による料理教室や市町村の高齢者向け栄養改善教室などの実施拡大
(取組場面：地域)

2 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

第11回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト

一般社団法人愛知県歯科医師会

- 実施時期：募集期間5/6(木)～7/30(金)
- 対象者：県内在住もしくは在勤、在学の方
- 内 容

生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛んで食べることが重要です。このため、愛知県歯科医師会では、栄養バランスを考慮した「よく噛んで食べるように工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、広く県民に発信・普及することで「8020健康長寿社会」を目指しています。

レシピは「キッズ」、「地産地消」、「高齢者向け」の3部門で募集。キッズ部門は小中学生が対象になっています。

歯科医師会ホームページアドレス <https://www.aichi8020.net>

●活動の成果、今後の課題

コロナ禍にもかかわらず、3部門合計で708点の応募がありました。令和3年11月14日にWebで行った第42回愛知県学校歯科保健研究大会では入賞者12名と1団体を報告し、作品の紹介、総括を発表しました。

今後も広く一般からレシピを募る他、入賞作品紹介の場を計画し、更に噛むことの大切さと健康との関係を子どもを含め広く県民に周知していきます。

- 連携について(連携先：愛知県栄養士会、愛知県教育委員会、愛知県、中日新聞社、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会)

教育委員会や関係団体を通じて広く周知を図ることにより、よく噛んで食べる食習慣の形成を推進しました。



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発(取組場面：地域)



歯みがき指導

北名古屋市保健センター

- 実施時期：10月
- 対象者：市内保育園・子ども園の在園児とその保護者
- 内 容

例年は、歯科衛生士が市内の保育施設を巡回して歯みがき指導を行っていましたが、コロナ感染予防のため対面指導は中止したため、オリジナル動画を作成してDVDにし、各園各クラスで視聴しました。

園内で歯みがきの練習はできないため、保護者向けにYouTubeで動画配信し、家庭での歯みがきに役立てていただきました。

●活動の成果、今後の課題

各園各クラスで動画視聴する形で、感染症対策をしながら指導できました。また、これまで家庭への歯みがき指導を行っていなかったため、良い機会になりました。しかし、対面指導と比べると細やかな指導ができない点が課題として残されていると感じています。



市保健センター公式YouTube



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発(取組場面：地域)

あなたのためのちょいやせ道場

尾張旭市

- 実施時期：12月7日、14日、2022年1月11日
- 対象者：①40～64歳で特定健康診査の結果、積極的支援の必要なかた及びBMI24以上のかた
②血圧・脂質の値が気になるかた

●内 容

特定健康診査を受診し、積極的支援や、生活習慣病になる恐れのある市民への知識の普及と個別の生活習慣改善指導を行い、生活習慣病を予防する行動をとることができるようになるための教室を開催しました。全12回。(11月30日から3月15日までの火曜日)

(12/7) 栄養講義①、(12/14) 個別相談、(1/11) 栄養講義②

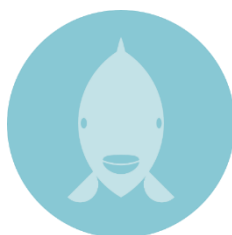
●活動の成果、今後の課題

【参加者】12月7日(9名)、12月14日(10名)、1月11日(7名)

調理実習については、コロナ感染状況等を見ながら再開を検討していきます。



取組項目：特定健診等における医療保険者と関係者の連携、メタボリックシンドロームに着目した、特定健診・特定保健指導の効果的な実施(取組場面：地域)



コロナワクチン集団接種会場での野菜摂取量増加の普及啓発

蟹江町

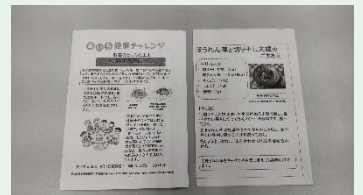
- 実施時期：5月から2022年3月
- 対象者：コロナワクチン集団接種に来所した延べ約2万人
- 内 容

コロナワクチン接種のために来所した方に、野菜摂取量が増えるよう普及啓発する機会を設けました。愛知県の野菜摂取量をクイズ形式で出題するものや、普段の食事に活用できるレシピカードなどを設置しました。1日に350g以上の野菜摂取が健康寿命の延伸につながることも案内しました。また、ワクチン接種までの時間や接種後の待機時間に読めるように、目につきやすい場所に掲示しました。



●活動の成果、今後の課題

掲示した媒体を見て、レシピカードを手にする住民さんの姿がありました。近郊で手に入りやすい野菜で作れるレシピやベジファースト、野菜摂取量が増える工夫などについても記載しています。今後の野菜摂取量が増加するように、継続的な取り組みが必要と考えます。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進
(取組場面：地域)

『BDHQ』・『ベジチェック』を使った食を通じた健康づくり支援

生活協同組合コープあいち

●内 容

誰もが住み慣れた地域で生涯健康に暮らし続けられるように、いくつになっても健康を意識した食育として、『BDHQ』や『ベジチェック』というツールを使って、組合員の食習慣や健康を考えるきっかけとなる場を地域で広げています。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、それぞれのご自宅で取り組める企画として「おうちで食習慣チェック（BDHQ）」を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

2021年度は1200名を超える申込みがあり、年2回の体験の呼びかけに対して、のべ1,044名が参加しました。

今年度から導入した「ベジチェック」を活用した取り組みは、店舗や組合員活動の定例会で広がりました。コロナ禍で実施できる期間が限られましたが、のべ2,000名を超える方が参加。その場ですぐ推定野菜摂取量の結果が分かるため、より気軽に参加でき大変好評です。

●新しい生活様式への対応について

BDHQは、マークシートを活用した参加のほか、Webでの参加も可能です。QRコードからアクセスし、申し込み後1週間から10日後に案かいメールが届きます。その後、ご自身のPC・スマホからログインして参加、回答を入力後は約45分で結果を見ることができます。



取組項目：野菜摂取量が少ない背景の調査と摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充
(取組場面：地域)

野菜を手軽に、たっぷりたべよう！干し野菜調理講習会

愛知県食育消費流通課

- 実施時期：2022年2月2日、4日
- 対象者：食育推進ボランティア、一般
- 内 容

愛知県は県民一人あたりの野菜摂取量が全国の中でも少ないため、普段の食事に野菜を手軽に取り入れる方法を学ぶ調理講習会を開催しました。

(株)Table for代表の鈴木あすな氏を講師に迎え、「干し野菜」をテーマに講演や調理実習等を行いました。

(2月2日…名古屋会場 聴講型 2月4日…刈谷会場 実習型)



●活動の成果、今後の課題

講習会の中では参加者から多くの質疑が寄せられ、干し野菜や野菜摂取量についての関心の高さがうかがえました。参加者アンケートでは、「簡単にできそうなので、ぜひ家庭で実践したい」「おいしく野菜摂取量を増やせる」などの意見があり、大変好評でした。次年度も、テーマを変えて調理講習会を開催していく予定です。



●連携について(連携先：愛知県健康対策課)

講師の選定にあたり、愛知県健康対策課と連携し、「県民の野菜摂取量を増やす取組」というテーマに沿った講師の方を紹介していただきました。講師の方には、単に野菜を増やすだけでなく、おいしく手軽に、という観点でも工夫いただきました。



取組項目：野菜摂取量が少ない背景の調査と摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充
(取組場面：地域)

こども料理コンクールビストロおぶちゃん

大府市健康増進課

- 実施時期：7月～2022年2月
- 対象者：市内小学生
- 内 容

野菜不足改善を目的にオリジナルレシピを募集し、料理コンクールを開催しました。コロナ禍である2021年度はテーマを「わたしのナンバーワン納豆＆朝ベジ料理」とし、免疫力を高める納豆と野菜を使ったコロナに負けないレシピを募集し、574組の応募がありました。書類選考で4作品を選出し、11月23日に実技審査を行い、優秀者を表彰しました。なお、優秀レシピの一部は学校給食等に採用されます。

https://www.city.obu.aichi.jp/kenko/kenkozukuri/kenko_event/1020843.html

●活動の成果、今後の課題

小学校の夏休みの課題にとり上げていただけるようになり、参加者が増えました。

●連携について(連携先：教育委員会、(株)スギ薬局、(有)高丸食品)

教育委員会との連携：優秀レシピの学校給食への採用、審査員を学校栄養教諭に依頼

(株)スギ薬局との連携：審査員を管理栄養士に依頼、副賞の提供

(有)高丸食品との連携：納豆の提供



あぎやさいのなっとうかきあげ
(給食メニュー賞)



秋なすと納豆のソースいため
(グランプリ賞)



取組項目：野菜摂取量が少ない背景の調査と摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充
(取組場面：地域)

3 食の安全・安心に関する信頼の構築

消費生活モニターに対する情報提供

愛知県県民生活課

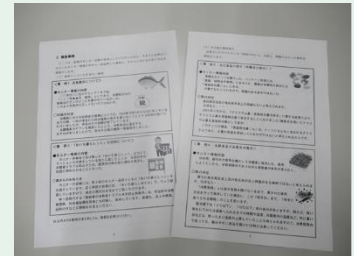
- 実施時期：通年
- 対象者：2021年度愛知県消費生活モニター
- 内容

2021年度愛知県消費生活モニターに対し、「食品表示」や「食の安全・安心」を含む、消費生活に関する様々な法律等についての研修を行いました(知多、名古屋で集合研修、コロナ感染拡大により集合研修を取りやめた西三河、東三河地域では書面研修)。

また、「モニター通信」として、消費者の関心の高い「食品表示」等について、実際に寄せられたモニター情報の事例を紹介し、知識の向上を図りました(7月、10月、1月)。

●活動の成果、今後の課題

消費者の食に関する関心は常に高いことから、今後も引き続き、食についての情報提供や啓発を継続していきます。



取組項目：食品表示110番や消費生活モニターによる活動を通じての食品表示の適正化
(取組場面：地域)

食物アレルギーに対する理解を深める

岡崎市

- 実施時期：5月から12月
- 対象者：公立保育園・公立こども園の職員
- 内容

保育園・こども園の食物アレルギー児の増加に伴い、誤食事故の発生がみられるようになりました。エピペンを所持する重症なお子さんも年々増えていることから、安全に給食やおやつを提供を行うため、職員の知識・意識の向上を図ることを目的とし、公立保育園の職員を対象とした研修会を開催しました。

専門医による食物アレルギー研修会や、職員への実践的な研修として、保育課職員が講師となり、原材料の見方、保護者への聞き取りの仕方、緊急時の対応、エピペンのデモンストレーションなどを中心に、2016年から勉強会を開催しています。

●活動の成果、今後の課題

誤食事故の減少はみられますが、原材料の見落としのような基本的な対応ができていないため起こった事故が、件数は少ないですがまだ時々発生しています。

また、事故原因も年々変化してきていることから、基本的な対応だけでなく、その時々状況に応じた内容の研修会、勉強会を開催していきたいと思えます。

●継続した取組について

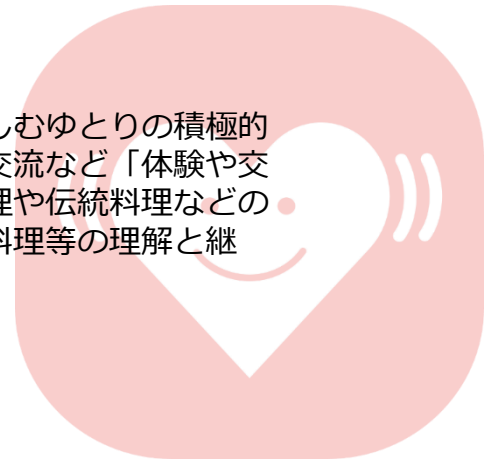
当初は年1回の開催でしたが、新規の保育士も多数入庁することから、初任者向け、中級、上級と習熟度に合わせた内容で実施するように変更しました。エピペン所持や重症児の増加から、重症児が在籍する園の職員向けの勉強会や、私立保育園の職員向けの勉強会を追加で実施しています。



取組項目：食物アレルギーへの理解促進(取組場面：地域)

食を通して豊かな心を育む取組

家族や友人と楽しみながら食事をとることなど「食を楽しむゆとりの積極的な確保」、家庭での料理や作物栽培体験、都市と農村との交流など「体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進」、郷土料理や伝統料理などの食文化の継承や食事作法の習得など「日本の食文化や郷土料理等の理解と継承」について取組を行いました。



1 食を楽しむゆとりの積極的な確保

友だちや保育士と一緒に楽しく食べよう

春日井市立小野保育園

- 実施時期：通年
- 対象者：全園児
- 内容

子どもたちの発達、発育を踏まえながら、1年を4期に分け食育計画を立て、子どもたちに丁寧に寄りながら「楽しく食べる」「咀嚼の大切さ」「食べ物、作る人への感謝」を日々知らせる取り組みを続けています。

また、毎日降園時に、その日の給食やおやつを展示することで、保護者と子どもとの会話や家庭においての食の関心につながっています。

●活動の成果、今後の課題

園内にガラス張りの調理室があり、調理の様子を見たり園内に料理の匂いが漂ってたりして、食事の時間を楽しみにしています。食べられない食材に抵抗がある子どももいますが、進んで食べようとする気持ちを育むことを保育士間の共通のねらいにし、楽しく食べるという取り組みを、今後も継続していきます。

●新規取組について

昨年度まで2か月に1回、食育に関するテーマを決め、そのテーマに沿った話を子どもたちにしてきましたが、食育指導の在り方について職員間で話し合いをし、食育指導は日々の食事に行うことが大切になる、と見直しをしました。改まった話ではなく、食事時間にその都度子どもたちに大切なことを伝えられることで、より食に対する関心が高まっていると感じています。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上(取組場面：保幼)

おやつでの食育活動

尾張旭市立柏井保育園

- 実施時期：2022年2月2日
- 対象者：3, 4, 5歳児（61名）
- 内 容

普段のおやつ（おにぎり）は各クラスでラップの上にご飯を置いて自分で包んでいますが、“わかめ”“ゆかり”を自分で選ぶことができる、という経験はこれまで行っておらず、楽しみながらできる方法はないか、園内で検討し、調理員も巻き込んで行うことで握ってもらった感謝の気持ちを持つとともに普段あまり関わる事のない調理員とのやり取りが食の興味につながるのでは、と思い実施しました。



●活動の成果、今後の課題

その場で選ぶと好みに偏りが出ることを懸念し、事前に確認した上で色別のチケットと引き換えに行ったことで握る数が把握でき、スムーズでした。調理員からも初めて直接子どもと関わったようで楽しかった、という話を聞き、お互いにいい効果もありました。園児にも好評で、次回は自分たちで握れる方法を検討していきたい。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上(取組場面：保幼)

「和食の日」に合わせた「だし」の給食提供

碧南市社会福祉協議会 西端保育園

- 実施時期：11月24日
- 対象者：3・4・5歳児 90名
- 内 容

11月24日の「和食の日」に合わせ、給食を通じて様々な「だし」の味を味わいました。人参ごはんは「干しいたけ」、鯖のかつお節煮は「鰹節」、けんちん汁は「昆布と鰹節の合わせだし」を食し、日頃食べている「和食」には色々なだしが使われていることを知り、和食を身近に感じられる機会にしました。

●活動の成果、今後の課題

昇降口に4種類のだし（干しいたけ・にぼし・昆布・鰹節）を展示し、子どもが見たり、匂いを嗅いだりすることで、「だし」への興味を持つことができるようにしました。普段知らず知らず口にしてしている「だし」を体感し、食への興味関心が広がりました。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上(取組場面：保幼)

授業「給食はなぜ食べるのだろう」の実施

岡崎市

- 実施時期：2022年2月18日
- 対象者：中学1年生
- 内 容

共同調理場方式である岡崎市は、子どもたちに給食を作る様子や作業の大変さが伝わりにくい。そのため、給食がどのように作られているかを学び、給食を感謝の気持ちをもって食べてほしいと思い今回の授業を実施しました。

調理の様子の動画や残食のグラフ、他校との残食量の比較グラフ等を用いて、給食を作る人はどんな思いでやっているのか、自分だったらどう思うのか等を考えてもらいました。

●活動の成果、今後の課題

調理員の作業の大変さを知り、「感謝の気持ちを込めて食べたい」や「残ってきた給食を見ると調理員さんが悲しむから今までよりも食べたい」という気持ちをはぐくむことができた。（ワークシートより）

クラスの残食を減らすために子どもたち同士で声を掛け合おう様子が見られ、実際に今回の授業を通して残食量が減少した。

●新しい生活様式への対応について

実際に調理員に直接生徒の前で日頃の調理について話してもらいたかったが、コロナの影響を考え、作業の様子や調理員からのメッセージなどの動画を作成して授業に使用しました。



取組項目：学校給食による感謝の心や美味しいと感じる味覚の育成、会食の楽しさ等の実感(取組場面：学校)

親子クッキングと食育ボランティアの紹介（広報での啓発）

知立市

- 実施時期：12月
- 対象者：市民
- 内 容

R3年度予定していたキッズクッキング、親子クッキングがコロナ禍により中止となりました。団らんの機会が増えるこの時期に、食育ボランティア「食育知立（ともだち）の会」の協力を得て、親子でクッキングをしたり、食についての話題に触れるなどの機会をつくりました。あわせて「食育知立の会」についての紹介を行い、来年度予定している養成講座での会員獲得に向けたアピールをしました。

●活動の成果、今後の課題

広報を通じ広く啓発することができた。食育ボランティアの活動の場がコロナにより様々な事業が中止になっていましたが、レシピの提供ということで活動の1つとすることができ、ボランティアの周知もできました。

今後コロナ禍でも出来ることをお互いに検討し、連携しながら取り組みを進めていきます。子どもが好むレシピやお手伝い出来るレシピを掲載しました。



取組項目：「新しい生活様式」に合わせた食を楽しむための情報提供(取組場面：地域)

「幸田駅前銀座OMOTENASHIマルシェ」～今日の晩ごはんを応援～

幸田町

- 実施時期：6月10、11、17、18日 16時～19時
- 対象者：テイクアウト弁当を購入した方、会場来場者
- 内容

幸田町を舞台にしたドラマ「最高のオバハン」の展示パネル会を開催と同時に、幸田町商工会が、テイクアウト弁当や自宅で楽しめる食品を販売するイベントを実施しました。ドラマ撮影中にロケ弁として提供されたお弁当も用意されました。

町が後援するにあたり、「食育」の推進と食育月間の周知、食を通じたコミュニケーションの促進を図るため、啓発文を印刷したチラシを配布しました。



●活動の成果、今後の課題

コロナ対策に注意を払いつつ開催される中、連日多くの方が訪れてくださいました。お弁当を、家族・友人と家で一緒に食べることを想定したイベントであり、「おうちでごはんの日」の周知や食育啓発を行う良い機会になりました。

●新規取組について

食育としての取組企画がコロナ禍のため中止となる中、幸田町商工会と共に実施するテイクアウト弁当販売イベントを、食育啓発の機会と捉え、取組を実施しました。



取組項目：家族団らんの大切さや、家族・友人と一緒に食事をとることを呼びかけ
(取組場面：地域)

地元農畜産物通販サイト「おいしいあんじょう」

安城市

- 実施時期：通年
- 対象者：市民
- 内容

コロナの影響で地元農産物のPRイベントが開催できない中、地産地消・食育の推進、地元農家の販路拡大を目的に4月に地元農畜産物通販サイト「おいしいあんじょう」を立ち上げました。

市内在住者のみを対象にしており、サイトから地元産を中心とした国産野菜セット、安城市産の有機野菜セット、安城ハムのギフトセット等を注文することができます。

●活動の成果、今後の課題

自宅にいながら地元の旬の農産物を味わうことができるツールとして活用されており、R4年2月時点で総販売数が1,200件を超えました。

今後は販売数の拡大と、出品する市内農家を増やすことが課題です。



取組項目：「新しい生活様式」に合わせた食を楽しむための情報提供(取組場面：地域)

Instagramを利用した情報発信

高浜市 健康づくり推進委員

- 実施時期：10月～
- 対象者：市民
- 内 容

愛知県は野菜摂取量が少なく、若いうちからの生活習慣病予防を目的として、誰でも簡単に取り組める健康情報、野菜レシピなどをInstagramを利用してシェアしました。テーマを「野菜を食べよう」とし、主婦である健康づくり推進委員が投稿しました。

●活動の成果、今後の課題

SNSを利用することで多くの人に情報発信できた。フォロワーをもっと増やす取り組みが課題です。

●新規取組について

コロナ禍で地域のイベントや人との交流が制限され、健康づくり活動が停滞しているなか、非対面でも情報発信、普及啓発できる方法を検討しSNSを利用することとしました。



取組項目：「新しい生活様式」に合わせた食を楽しむための情報提供(取組場面：地域)

食育だより

東郷町立南部保育園

- 実施時期：2022年年2月
- 対象者：保護者
- 内 容

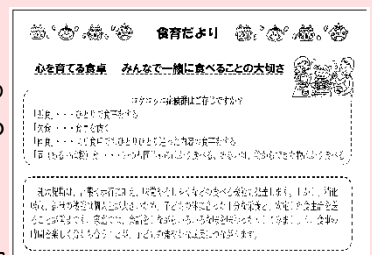
毎月発行している園だよりには、行事やお知らせと共に、保健だよりや食育だよりを載せています。主に行事食のことやマナーについて載せていましたが、2月は「こ」食についての簡単な資料を載せ、食事についての情報を保護者に向けて発信しました。

●活動の成果、今後の課題

どれだけの方が関心を持たれたか、把握していないので成果がみられなかったことが今後の課題です。園児にも投げかけ、家庭で保護者と共に会話をする機会が持てるようにしていきたいと思いました。

●継続した取組について

園だよりによる食育だよりは、何年も続いています。園だよりを作成する担当者が、毎月保護者に向けて何を発信しようかと様々な情報を集めています。今回「こ」食を取り上げたのは、園児の朝食の様子を聞いていると、忙しい時間の中、とにかく食べ物を与えているという印象を受けました。保護者の方々の忙しさもわかるのですが、食事の時間も大切にしてほしいという思いを込めて情報を載せることにしました。



取組項目：「『こ』(孤、個、固、粉、小、濃)食」の解消のための対策についての情報提供(取組場面：保幼)

2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

米作り体験から食の大切さを知る

東郷町立和合保育園

- 実施時期：4月～10月
- 対象者：5歳児
- 内 容

栽培を通して食への興味関心を深めることを目的に、園内で米作りを行いました。土づくりから田植え、収穫までを子どもたちと取り組み、収穫した稲穂は部屋飾りとして使ったり、少量ではあったが脱穀体験も行い、食すことができました。



●活動の成果、今後の課題

今までは、地域の方の田んぼで田植えや収穫体験させていただいていましたが、園内で行うことで、間近にイネの観察をし、成長の過程を楽しみながら取り組むことができました。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用(取組場面：保幼)

畑に行こう！ in富貴保育園

武豊町産業課・子育て支援課

- 実施時期：2022年1月12日
- 対象者：富貴保育園 園児（年長）
- 内 容

「子どもたちが農家の畑に行き、自分の手で野菜を収穫する」、「自分たちで収穫した野菜を、農家さんと一緒に食べる」ことで、子どもたちに地元で育った野菜をより身近に感じ、興味を持ってもらうこと、

また、紙芝居「しろくまとペンペンの まちのおやさいをたべよう！」を通じて、「地元で育った野菜を食べる（地産地消）」ということが、輸送時の排気ガス（温室効果ガス）を最小限に抑え、地球にとって優しい行動になるということを園児たちに伝える、カーボンニュートラルの観点も含んだ、体験型プログラムです。

●活動の成果、今後の課題

参加した園児は、自分たちで収穫したニンジンの大きさや形に一喜一憂し、収穫した野菜を使った給食を美味しく食べることができました。そして、農家さんとの交流を通じて、野菜を大きく育てるコツや畑の作り方なども学ぶことができました。

また、紙芝居の効果も大きく、たくさんの園児が、お家の人に「しろくまやペンペンの氷を守るために、武豊町のお野菜を食べよう」と報告してくれたようで、多くの保護者から、素敵なイベントをありがとう、今後も続けて欲しいとの声が聞かれました。今後も、季節に応じた野菜の収穫（栽培も含む）体験や紙芝居を通じて、園児たちに食育や地産地消、地球にやさしい取組を伝えていきます。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用(取組場面：保幼)

JAあいち中央と連携しての大根栽培

刈谷市立富士松北幼稚園

- 実施時期：9月～11月
- 対象者：5歳児
- 内 容

毎年行っている刈谷市北部の特産物である大根の栽培を通して、刈谷市の農業への取り組みや食への関心が持てるようにしました。

今年度はコロナ禍のため、JAの方に種まきの仕方や育て方を直接教えていただくことは叶いませんでしたが、子どもたちが種をまいたり間引きをしたりした様子を伝え、機会ごとに様子を見守っていただきました。

子どもたちも保護者も毎日の水かけや世話の中で、大根の成長に関心を持つことができました。自分たちで育て、収穫した大根を家庭に持ち帰り、おでんやみそ汁に入れて食べたことを園でも話題とし、より食に興味を持ってたと思います。



●活動の成果、今後の課題

種から育てることで、食物の種に関心を持ったり、芽が出てくる喜びを感じたり、育てる際の間引き等の世話について知ったりすることができました。

また、大切に育てた大根を食べることで、他の食材への関心にもつながりました。毎年行っている取り組みなので、今後も続けていきたいと思っています。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用(取組場面：保幼)

愛知県親子の食育推進普及事業

蒲郡市健康フェスティバル「ひとねる祭」

愛知県食生活改善推進員協議会<蒲郡市健康づくり食生活改善協議会>

- 実施時期：11月23日
- 対象者：市民(親子)
- 内 容

蒲郡市の保健センターで開催された「健康フェスティバル」で「食育SATシステム」を利用し、親子で食事バランスのチェックをする体験会を実施しました。先着36組の親子がリアルなフードモデルを用いて、楽しく食事バランスを学ぶことが出来ました。

「たべたくんの食育アンケート」に回答してくださった親子には、「キャラクター下敷き」や「ぬり絵」を配りました。又、簡単電子レンジクッキングメニューのレシピ「五目切り干し大根」や「鬼まんじゅう」等も配布しました。



●活動の成果、今後の課題

食育SATシステムは、誰にでもわかりやすく、ゲーム感覚で学び、新たな発見もあり好評でした。

下敷きやぬり絵は130枚ほど準備したのですが、最後は不足するほどの来場者があり、スタッフとしてもやりがいを感じる事が出来ました。



食育SATシステム…ICタグ内蔵のフードモデルを選んで機器に載せるだけで、選んだ献立の栄養価やバランスなどが画面に表示されるもの



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進
(取組場面：地域)

ほうれん草農家視察

新城市

- 実施時期：2022年1月14日
- 対象者：市内小中学校に勤務する栄養教諭
- 内 容

令和4年2月の学校給食で、市内産のほうれん草から作ったほうれん草パウダーを使用したドーナッツを提供しました。

提供に先立ち児童、生徒への効果的な食育及び地産地消の推進を図るため、栄養教諭が実際に生産農家の元を訪問しました。ほ場を見学したり、生産者の思いを直接聞くことができる貴重な機会となりました。

また、実際にほうれん草パウダーにする過程を一部体験させてもらい、印象に残る体験となりました。

●活動の成果、今後の課題

栄養教諭が視察の様子を撮影し、後日動画を作成して教材として使用することで、児童、生徒への効果的な食育及び地産地消の推進ができました。

今後も学校での食育の推進を図るため、こうした取組を継続していきたいと考えています。

●新規取組について

令和4年2月の学校給食で、市内産のほうれん草から作ったパウダーを使用したメニューを提供する予定があり、栄養教諭から、地場産の食材が使われていることなどを児童や生徒に教えるため、提供前に生産者のもとを訪問し話が聞きたいとの依頼がありました。



取組項目：生産者等と学校の連携による計画的な体験学習の環境づくり(取組場面：学校)

蒲郡子ども農業教室

蒲郡市農林水産課

- 実施時期：10月～11月
- 対象者：市内小学3年生
- 内 容

市の主要農産物である「みかん」への理解を深めるとともに、食の大切さを感じるための食育活動として、みかんの集出荷場の見学とみかんの収穫体験を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

蒲郡市農業協同組合や蒲郡柑橘組合、蒲郡柑橘同志会、愛知県農業総合試験場の協力により、市内全小学校が収穫体験を実施することができました。事業実施後のアンケートでは、「地元の農業や国産の農産物に対する興味がわいた」と回答する児童が、事業実施前は58.7%であったが、事業実施後は90.3%に増加するなど、みかんを始めとする地元農産物についての知識の習得やほ場での貴重な体験から食への関心拡大につながりました。

●連携について(連携先:蒲郡市農業協同組合、蒲郡柑橘組合、蒲郡柑橘同志会、愛知県農業総合試験場)

地域の農業の学習における、市の主要農産物である「みかん」について、集出荷や収穫を実際に目で見て体験することにより、理解が深まり関心を高めることにつながると考えたため、蒲郡市農業協同組合や蒲郡柑橘組合、蒲郡柑橘同志会、愛知県農業総合試験場へ協力を依頼しました。



取組項目：生産者等と学校の連携による計画的な体験学習の環境づくり(取組場面：学校)

学校給食メニューコンクール

岡崎市

- 実施時期：4月～8月
- 対象者：市内小中学生
- 内 容

子どもたちが地産地消、学校給食、食育への関心を高めることを目的とし、「みんな食べたくなる！ごはんに合う野菜たっぷりのおかず」をテーマに市内小中学生から八丁味噌、岡崎おうはん、岡崎市産の野菜等の地元食材を使用したオリジナルメニューを募集しました。書類審査、試食審査を経て最優秀賞1点、優秀賞2点を選定し、これらの3点を学校給食の献立として提供しました。（応募総数111点、参加者142名）



●活動の成果、今後の課題

野菜が苦手な児童も多いと思いますが、苦手な子でも食べやすく、お家の自慢料理をみんなにも食べてほしいなど、野菜をおいしく食べる工夫がいっぱいのメニューで、食に関心を持って取り組んでもらうことができました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



●連携について(連携先：教育委員会、(公財)岡崎市学校給食協会)

市内小中学校の学校給食を提供しながら食育推進活動を行っている(公財)岡崎市学校給食協会と連携することで、児童・生徒の考案メニューを給食の献立として提供することを可能にしました。



取組項目：調理実習や料理コンテスト等を通じた食の知識や調理技術の習得、食事を作る人への感謝の気持ちの育成(取組場面：学校)

あいち健康の森薬草園イベント

一般社団法人愛知県薬剤師会

- 実施時期：通年
- 対象者：県民
- 内 容

県民が薬草を通じて心とからだの健康づくりを行い、自然との共存や薬・食を学ぶことができる場として、あいち健康の森薬草園において毎月イベントを実施しています。食に関する企画として、スパイスやハーブを使ったカレー粉手作り、薬研を使った七味唐辛子作り、ショウガを使ったレシピ実習などを行いました。

また、食中毒予防に関する講義を行いました。



●活動の成果、今後の課題

参加者の感想から「こだわったカレー作りが気になったため、ぜひ活用したいです。」「これをきっかけにスパイスを作ってもいいなと思いました。」と大変好評な企画となりました。

終了後のアンケートでは参加者の9割以上が「薬草を活用したい」「健康づくりに薬草が役立つ」と回答する等、薬草に興味をもってもらう機会になりました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進(取組場面：地域)

提案型大学連携協働事業

食文化継承に向けた食育の推進～比較文化論的観点から～業務委託

名古屋外国語大学（大学連携協働事業）、日進市農政課、日進市市民協働課

- 実施時期：2022年1月30日
- 対象者：児童（小学4年生以上）および保護者
- 内 容

時代や地域の異なる食文化を紹介・比較することで、食に関わる領域に興味を持ってもらうだけでなく、世界を広く眺める視座を涵養することを目的とし、フランス料理店「壺中天」の上井シェフを講師として招き、講演会を実施しました。



●活動の成果、今後の課題

今回は、「フランスの食文化を体験する」ことに焦点が当てられ、この点については十分に達成できたと考えます。

●新規取組について

実際に未来の食文化を担う子供たちに、プロの料理人の話を聞いてもらうことで、食への理解を深め、食の技術や創造性、持続性にも目をむけてもらうために実施しました。



取組項目：多様な食文化や食についての情報提供(取組場面：地域)

3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

愛知を食べる学校給食の日

愛知県教育委員会保健体育課

- 実施時期：6月19日頃、秋、2022年1月24日頃
- 対象者：給食を実施する公立学校
- 内 容

県では、平成19年度から「愛知を食べる学校給食の日」を実施しています。学校給食に地場産物を使用することにより、児童生徒・保護者等が地域や地域の産物への理解を深め、地域に伝わる食文化や食の加工技術に触れることにより、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高め、環境にも配慮する機会とするためです。

この日は、県内の公立学校において、普段より多くの地場産物を使用した献立を提供するとともに、地場産物や地域に伝わる郷土料理・郷土の食文化等を紹介する校内放送、啓発資料作成などを行っています。

●活動の成果、今後の課題

各学校において、地場産物を積極的に活用した給食が提供されるとともに、「食育だより」等を通じて、児童生徒や保護者に地場産物や郷土料理等を紹介する啓発活動が毎年行われています。

一方で、「あいち食育いきいきプラン2025」の数値目標「学校給食における全食品数に占める県産食品数の割合45%」は、天候不順による収穫量の不安定さにより、令和3年度は38.2%と未達となりました。昨年度は40.4%と、40%を超えていますので、野菜の高騰や天候不順の影響等がなければ、目標値に近づくものと思われます。



取組項目：学校給食への導入促進や体験との関連づけ、「愛知を食べる学校給食の日」の年3回実施(取組場面：学校)

愛知を食べる学校給食の日

豊橋市教育委員会

●実施時期：6月、10月、12月、2022年1月

●対象者：豊橋市立小中学校・保護者

●内 容

(目的) 学校給食に地元の農産物を使用することにより、児童生徒・保護者等が地域や地域の産物への理解を深め、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高める機会とする。

(内容) ・愛知県産、豊橋市産の農畜産物を多く使用した献立を提供。
・調理場だよりや給食放送原稿で献立紹介。
・献立を紹介するPowerPoint資料や地産地消に関する動画を作成、YouTubeに掲載し、活用を促進。
・上記資料を、学校の授業で活用したり、給食時間に視聴したりした。



●活動の成果、今後の課題

- ・児童生徒・保護者等が地産地消への理解を深めることが出来た。
- ・資料を作成する栄養教諭の数が足りていない。



とよはし学校給食チャンネル



取組項目：学校給食への導入促進や体験との関連づけ、「愛知を食べる学校給食の日」の年3回実施(取組場面：学校)

ミニトマトの魅力発見と漬け込み体験

愛知県園芸農産課

●実施時期：2022年1月下旬

●対象者：食育推進ボランティア、一般県民

●内 容

愛知県は全国屈指の農業県であり、その豊富な野菜産地を背景として、古くから多種多様な漬物が作られている漬物業が盛んな地域でもあります。また、最近では漬物の低塩分化が進んでおり、野菜の豊富な栄養を手軽にとれることから、「健康的な食品」としての評価が高まっています。

そこで、食文化の一つである漬物を通じて愛知の野菜に興味を持ってもらえるよう、生産量全国第3位を誇る愛知のミニトマトに着目し、「ミニトマトの魅力発見と漬け込み体験」を動画配信形式で開催し、県民に愛知の野菜と漬物の魅力をPRしました。



●活動の成果、今後の課題

体験後に実施したアンケートでは、「もっと野菜を食べたい」、「発酵食品の力は凄いと思う」などの意見があり、参加者に愛知の野菜と漬物の魅力をPRすることができました。さらに、当事業では愛知の野菜と漬物を紹介したリーフレットを作成、配布し、また、当講習会のショート動画(<https://youtu.be/XgT-PmzAQWA>)を動画サイトにアップすることで、今後も広く県民に向けてPRに努めていきます。

●連携について(連携先：渥美半島とまとランド 小川氏、株式会社丸越 柴田氏)

前事業3回が尾張地区に集中していたため、東三河で生産が盛んな野菜であるミニトマトに着目しました。小川氏(ミニトマト農家)は農家と消費者を繋ぐ「農カードプロジェクト」の発案者であり、積極的に農業をPRしています。また、株式会社丸越はあいち食育サポート企業団にも加盟しており、柴田氏はぬか漬教室をはじめ、漬物を通じた食育活動に取り組んでいます。農業と食育に精通している二人と連携することで効果的に地域の食文化を伝えられると考えたため連携しました。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

食文化継承料理講習会

岡崎市

- 実施時期：2022年2月
- 対象者：市内小中学生親子
- 内 容

郷土料理や行事食等の地域に伝承している食の調理体験等を通じて、食文化の保護・継承への関心を高めることを目的とし、市内小中学生親子を対象に、地元の和菓子屋を講師に招いて食文化料理講習会「いがまんじゅう作りに挑戦！」を企画しました。（応募総数81組）

対面での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、動画の配信に切り替え実施しました。



●活動の成果、今後の課題

ひな祭り近くの開催で、たくさんの申込があり、食文化にふれる体験への関心の高さを感じました。動画配信は実際の反応を見ることが難しいため評価の方法について検討していく必要があると考えています。



●新しい生活様式への対応について

「いがまんじゅう作り」、「煮味噌調理」それぞれ動画を作成し、申込者に案内しました。蒸し器のない家庭も多いことから、家庭で作りやすいよう、電子レンジで作れるレシピに変更しました。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)



毎月19日は、おうちでごはんの日

食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組

食べ物の消費と生産の両面からの取組を推進するため、「食生活における環境への配慮の徹底」、「農林水産業への理解と地産地消の推進」及び「農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底」について取り組みました。

1 食生活における環境への配慮の徹底

食品ロス削減環境学習プログラムを活用したモデル授業の実施

愛知県資源循環推進課

●実施時期：7月6日、9月10日

●対象者：小学生

●内 容

本県では2019年度から、家庭の消費行動に影響が大きい小学生を対象とした、動画やゲーム（クイズすごろく）を通して食品ロス問題について楽しく学べる食品ロス削減環境学習プログラムを作成し、啓発を行っています。2021年度は7月6日に北名古屋市立栗島小学校で、9月10日に西尾市立一色東部小学校で、プログラムを活用したモデル授業を実施しました。

また、モデル授業の結果を踏まえて、より使いやすい内容へと改善したプログラム教材を県内の全小学校等へ配布し、授業等での活用を促進しました。

●活動の成果、今後の課題

モデル授業後のアンケートでは、88%の児童から「食品ロスの意味や減らすために何ができるか」が「よく分かった」と回答がありました。また、先生方からは「マニュアルを一通り読めばすぐに実施できる。」といったご意見もあり、本プログラムが、少ない負担で効果的な環境学習ができる教材であることが分かりました。

今後も、学校の授業等での活用を促進し、食品ロスの削減を目指します。



取組項目：食生活と環境との関わりについての学習にSDGsの視点導入(取組場面：学校)

無農薬・有機栽培お米作りの1年を体験しよう

日進市環境課

- 実施時期：通年（全6回）
- 対象者：市民
- 内 容

田んぼが地球温暖化対策や生物多様性の保全に貢献していること、また完全有機無農薬で生態系に悪影響を及ぼさない稲作を学んでいただくため、市内の田んぼでの農育体験の講座を実施しました。実施にあたっては、市民団体に委託することで市民との協働による環境まちづくりを推進しています。

5月に参加者10組を募集し、6月から12月にかけて、田植え、自然観察会、除草、かかし作り、稲刈り、収穫祭を開催しました。

●活動の成果、今後の課題

参加者からは、「普段できない貴重な体験ができた」、「子どもに農育体験を通じてさまざまなことを教えることができた」といった声が聞かれました。今後も市民団体と協働し、内容を工夫しながらこの取組を継続していきたいと考えています。

●継続した取組について

継続して実施していることにより、毎年参加していただける方もいます。そのなかには環境や協働について学ぶために、大学に進学したり、家族で畑を借りて本格的に農のある暮らしを始めたりする方もできています。今後もこうした方を増やしていきたいです。



取組項目：SDGsを意識した環境学習の推進(取組場面：地域)

エシカル消費普及啓発事業

愛知県県民生活課

- 実施時期：通年
- 対象者：県民
- 内 容

消費生活情報「あいち暮らしっく」の連載記事や、消費生活出前講座などでエシカル消費の理念を広く普及啓発したほか、「エシカル消費」に関するポータルサイト「私が変わる 未来を変える エシカル×あいち」においてエシカル消費に関する情報を発信しました。

また、エシカル消費普及啓発ロゴマーク及びイメージ動画を募集し、受賞作品を決定したほか、知事による「エシカルあいち宣言」を始め、「エシカル」をテーマとしたトークライブやファッションショー、商品の展示・販売などを盛り込んだ「エシカル×あいちフェスタ」を11月に開催しました。

●活動の成果、今後の課題

今後は、エシカル消費について、より関心を持っていただけるよう、参加体験型イベントの開催や、SNSを活用した情報発信により、広く県民に普及啓発し、認知度を高めるとともに、日々の生活におけるエシカル消費の実践を促していきたいと考えています。



取組項目：エシカル消費を意識した行動の普及啓発（取組場面：地域）

フードドライブ

東郷町環境課

- 実施時期：6月、10月、2022年2月
- 対象者：東郷町在住の方
- 内 容

町民に、家庭にある食べきれない食品を持ち寄ってもらい、セカンドハーベスト名古屋を通じて必要とされる方に寄付することで、食材を無駄に廃棄する食品ロスを削減しました。

●活動の成果、今後の課題

	6月	10月	2022年 2月	年間合計
参加人数(人)	16	26	28	70
持込点数(点)	104	271	247	622
重 量(kg)	—	—	76.8	—



●新規取組について

例年、文化産業まつりにおいて実施していましたが、R2年度はコロナ感染拡大防止措置としてイベント等を行えなかったため、R3年度から役場窓口において実施することとしました。



取組項目：積極的に食品ロス削減に取り組むための普及啓発(取組場面：地域)

2 農林水産業への理解と地産地消の推進

農業教育用資料「愛知の農業」(冊子・DVD)の作成・配布

J A 愛知中央会

- 実施時期：通年
- 対象者：愛知県内の全小学校・義務教育学校・特別支援学校の5年生
- 内 容

学校教育の中で本県農業への理解を深めることを目的に、農業教育用資料「愛知の農業」(冊子・DVD)を作成し、愛知県内の小学校・義務教育学校・特別支援学校の5年生を対象に配布しました。

「愛知の農業」では、県内を7つの地域に分けて、地域ごとの特徴的な農畜産物が一目でわかるように、地図上に載せて紹介しています。生産量が全国でも上位に入る農畜産物や、愛知の伝統野菜、ICTなどの最新技術を取り入れた取り組みなどを紹介しています。また、農業が生物多様性保全に果たす役割や、地産地消の意義を学ぶことができます。

●活動の成果、今後の課題

地域の農業を学ぶ学年の児童に対し、本県農業や農業の果たす役割への理解を深めてもらう一助となりました。教師へのアンケートでも、「DVDがとてもわかりやすい」「愛知県の農業について詳しく書かれている」との意見が多くあります。今後は、より多くの学校で「愛知の農業」を活用して頂けるよう、資料内容の向上を図ります。

●連携について(連携先：愛知県・愛知県教育委員会・愛知県農業振興基金)

次世代を担う児童に本県農業への理解を深めてもらうことを目的に、より教育現場で活用しやすい資料作成のために、編集委員として協力頂いています。



取組項目：生物多様性保全や洪水の防止など農林水産業の果たしている役割への理解促進(取組場面：地域)

農地・水・環境のつどい

愛知県農地計画課

●実施時期：11月23日

●対象者：県民

●内 容

農業・農村の有する様々な働き「多面的機能」は、農業を営むことによってその力を発揮します。愛知県では「多面的機能」を守るため、草刈り等の維持管理や自然環境保全に取り組む地域の活動組織を支援しています。

その一環として、優れた活動を行った活動組織に対する知事表彰や、優良事例の発表及びパネル展示を行うとともに、活動メニューのひとつである農業水利施設の長寿命化対策について、組織運営の一助とするため、施設の機能診断や補修技術に関する研修（講演）を行いました。

●活動の成果、今後の課題

活動組織のモチベーションを高めるとともに、優良組織の活動内容を紹介することで今後の参考になるばかりでなく、他の組織の活動の質の向上に繋がっていると考えています。今後も継続してこのようなイベントを開催し、地域の共同活動を活発にしていくとともに、より多くの県民に啓発していきたいと思えます。

●継続した取組について

取組開始当初は表彰会のみ行っていましたが、2009年度から講演会との2部構成とし、優良組織の活動内容の紹介や農地・水・環境に関する話題を参加者に提供しています。本年度は、活動組織が日々の活動において課題として抱えている農業水利施設の長寿命化対策について、機能診断や補修技術の紹介（講演）を行い、活動組織の活動力の向上を図りました。



取組項目：農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮させるための地域共同活動の推進
(取組場面：地域)

学校給食への地場食材利用拡大

瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会

●実施時期：4月～2022年3月

●対象者：市内小中学校児童・市内保育園園児

●内 容

市内の小中学校児童等に地域の農産物や農業者を知ってもらうため、農業者、農業関連団体、卸売り事業者及び行政等が連携して、給食で使用する農産物を地域で作製、提供するシステムづくりを行っています。

提供時期にあわせてポスターや広報誌等を活用して、農業者の思い、地元農畜産物の特徴や調理方法などをPRするとともに、食育に関する授業を開催しました。

●活動の成果、今後の課題

取組開始から、提供回数及び提供品目数は順調に増加しています。今後は、事業をより安定的に実施していくため、現在提供している品目の提供量を増やしていくことが課題です。

●継続した取組について

- ・市内小中学校 2015年（平成27年度）～ お米の提供
- 2017年（平成29年度）～ 玉ねぎの提供
- 2018年（令和元年度）～ キャベツの提供
- 2020年（令和2年度）～ ヤーコン、アレッタ、白菜、大根、里芋の提供
- ・市内保育園 2021年（令和3年度）～ お米、キャベツ、白菜の提供



取組項目：学校給食を活用した子どもへの地産地消の理解促進(取組場面：学校)

旬の食材を使用したメニューの販売

安城市

- 実施時期：毎月1回～2回
- 対象者：市民・職員（食堂利用者）
- 内 容

地産地消、特産品のPRを目的として、地元農産物を使用したレシピの開発と食堂でのメニュー販売を実施しました。2カ月に1回、メニュー販売日にJAあいち中央の協力の地元農産物の即売会を実施することで、地元農産物の啓発、地産地消の推進をPRしました。また、他課と連携を行い、食堂イベントに合わせて健康推進課が健康測定会を行うなど、相乗効果を狙った取り組みを行いました。

●活動の成果、今後の課題

市広報誌にて宣伝することで、市内から人が集まり、広く地産地消の啓発が行えました。現在は市食堂内でのイベントにとどまっているため、市内飲食店など外へ展開していくことが課題です。

●継続した取組について

今年度は他課と連携を行い、当日に健康推進課が健康測定会を、スポーツ課がオリンピックにからめたイベントを行うなど、市民の方に興味を持っていただけるような様々な取り組みを行いました。



取組項目：学生・社員食堂等での県産農林水産物の活用推進(取組場面：職場)

「あいさいさん☆給食コンクール」レシピ集の発行

愛西市産業振興課及び愛西市教職員会・栄養教諭部会

- 実施時期：7月～2022年1月
- 対象者：市民
- 内 容

愛西市の学校給食では、小学校4年生から中学校3年生の児童生徒を対象に、地元の野菜を使った給食献立を募集する「あいさいさん☆給食コンクール」を実施しています。これまで4年に渡り、れんこん・にんじん・だいこん・トマトを使った料理を募集し、栄養教諭が思い付かないような斬新な料理が誕生してきました。

この料理を、児童生徒や保護者だけでなく、地域の方々にも知っていただくことで地場産物活用促進に繋がりたいと考え、産業振興課の協力のもと、レシピ集「地産地消給食クッキング」を制作しました。本レシピ集は、市内小中学校に子どもが通っている全家庭へ配付するだけでなく、保健センターやJAなどの市内の関連機関でも配布しました。



●活動の成果、今後の課題

レシピ集に掲載したアンケートでは、「レシピ集の料理を作ってみたいか」の問いに、約7割の回答者が「とても作ってみたい」、約3割の回答者が「少し作ってみたい」と答えていました。児童生徒や保護者、教職員からは、「掲載されていた料理を作ってみた」という声が多かったことから、家庭での野菜摂取量の増加にも繋がったと感じます。

●連携について(連携先：愛西市産業振興課)

地域の方へ啓発する方法を産業振興課に相談したところ、取組にご賛同いただき、冊子を作成していただけることになりました。今後も、学校給食で行っている地場産物活用の取組を共有できる機会があれば、関連機関との連携をお願いしたいと思います。



取組項目：地域農林水産物の利活用等に向けた普及啓発(取組場面：地域)

道の駅にしお岡ノ山「西尾の抹茶」アイデアレシピコンテスト

西尾市農水振興課

- 実施時期：5月～11月
- 対象者：市民
- 内容

道の駅にしお岡ノ山、西尾茶協同組合と連携し、西尾市の特産物である「西尾の抹茶」をPRするために、アイデアレシピコンテストを開催しました。優秀作品を実際に商品化し、市民参加型審査を行い、売れ行きや投票により、最優秀賞を決定しました。応募総数は56点でした。

●活動の成果、今後の課題

おうち時間に「西尾の抹茶」を使って、抹茶を使ったスイーツだけでなく、抹茶のチャーハンやコロッケなど、沢山のレシピを考案していただき、地産地消の推進に繋げることが出来たと思います。今後も、市民の皆さんに楽しみながら、食育や地産地消を学んでいただけるような取組を進めていきたいと考えています。

●連携について(連携先：道の駅にしお岡ノ山、西尾茶協同組合)

地元産農産物を数多く販売している道の駅にしお岡ノ山と、「西尾の抹茶」を積極的にPRしている西尾茶協同組合と連携することで、地域ブランドとしても登録されている「西尾の抹茶」を広く皆さまに知っていただける機会になると考えたためです。



取組項目：地域農林水産物の利活用等に向けた普及啓発(取組場面：地域)

3 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

県内における資源管理の促進

愛知県水産課、県内漁業者

- 実施時期：2021年度
- 対象者：県内漁業者
- 内容

水産資源を持続的に利用するため、漁獲と再生産のバランスをとりながら資源を適切に管理することを「資源管理」といいます。

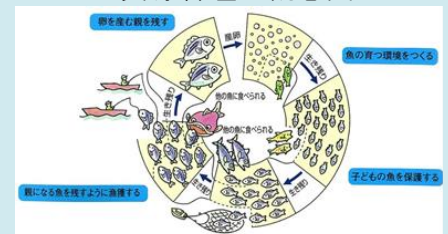
本県では、「愛知県資源管理指針」を定めており、漁業者はこの指針に基づきそれぞれ「資源管理計画」を策定し、定期休漁、小型魚の放流、禁漁区の設定等に取り組んでいます。

●活動の成果、今後の課題

県内漁業者へ連携を図り、資源管理を推進した結果、計38件の資源管理計画に延べ820名が取り組んでいます。(2022.1末現在)

水産資源を持続的に利用するため、引き続き、県内漁業者と連携して資源管理を推進します。

<資源管理の概念図>



取組項目：水産資源の持続的利用のための資源管理(取組場面：地域)

連合愛知30周年事業ここあファーム

日本労働組合総連合会愛知県連合会

- 実施時期：通年
- 対象者：県民
- 内容

フードバンクNPO「セカンドハーベスト名古屋（2HN）」に農作物を提供するため、連合愛知30周年事業「ここあファーム」として農園事業をスタートしました。

提供する農作物はお米をはじめ、2HNを利用する福祉施設の要望を踏まえ、腐りにくく栄養価の高い根菜類を中心に提供し、2HNを通じ児童養護施設や子ども食堂等、各施設に利用して頂きました。

農作物の一部はここあファームのイベントとして、連合愛知加盟組織の組合員とそのご家族に収穫して頂き、フードバンクの取り組みについて理解を進めました。

URL:https://www.rengo-aichi.or.jp/cocoa_farm/



●活動の成果、今後の課題

- ・お米690kg
- ・農作物1157kg(ニンジン・ジャガイモ・サツマイモ・タマネギなど)

根菜類を中心としたことで、提供する時期が6月前後と11月前後に偏りがあるなど課題が見受けられました。今期においては品種の変更などを行いバランスよく提供できるよう改善していきます。



●連携について(連携先：みんなパタプロジェクト)

連合愛知の30周年事業として食育体験農場を開園するにあたり、専門的な知識・技能がありかつ日常的な管理・運営ができる団体を探していたところ、津島市の農業団体の「みんなパタプロジェクト」様が対応出来るという話となり連携に至りました。

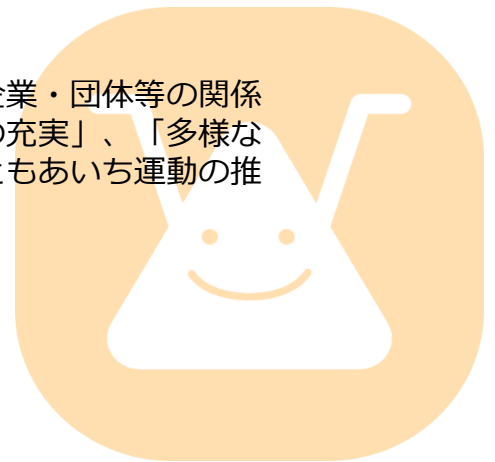


取組項目：フードバンク活動の企業等への紹介や未利用食品の活用に関する理解促進
(取組場面：地域)



食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村や食育を推進する企業・団体等の関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「多様な関係者による役割分担とネットワークの活用」及び「いいともあいち運動の推進と充実」に取り組みました。



1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

愛知学泉大学との連携事業

安城市

- 実施時期：9月、2022年3月
- 対象者：愛知学泉大学学生、市民及び市職員
- 内 容

愛知学泉大学管理栄養専攻の学生に、広報9月号、3月号の特集テーマである「筋肉をつけて、コロナ太りを撃退!」「新生活に向けて心を整えよう」の2つのテーマに合わせて安城市の農畜産物を使用したレシピを開発していただき、9月と3月に市食堂でイベントメニューとして提供しました。

イベント日には市健康推進課が食堂利用者に健康測定を行い、健康増進についての啓発を行いました。



- 活動の成果、今後の課題
- 栄養士を目指す学生に専門知識を生かしたメニューを開発していただき、健康の面から地産地消・食育を啓発することができました。

- 連携について(連携先：愛知学泉大学、(株)勤労食)
- 産官学連携事業として以前から大学と連携した取り組みを行っており、令和元年から(株)勤労食の運営する市食堂での地産地消イベントを行っていることから、両者と連携して学生の開発したメニューを市食堂で提供することとなりました。



取組項目：栄養士や調理師等を養成する学科の学生による食育の取組の学内・地域への啓発(取組場面：学校)

令和3年度知多地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県知多農林水産事務所農政課

- 実施時期：11月17日
- 対象者：食育推進ボランティア、行政職員
- 内容

知多地域のボランティアと関係者が食育について学び、交流を図る場として毎年開催しています。今年は、過去数年で要望が出ている食品ロス削減をテーマとした研修交流会を開催しました。

当日は、愛知みずほ短期大学の横山洋子講師から、日本の食品ロスの現状や食品ロスを削減するための工夫としての保存知識、食品ロスに対する学生の想いをお話いただきました。その後、食育推進ボランティアより活動・取組内容の発表と意見交換を行いました。

(当日出席者：30名)



●活動の成果、今後の課題

出席者からは、「食品保存の知識を得たので、食育活動に取り入れていきたい!」「『てまえどり』という言葉が世間でまだまだ知られてないことに驚いた」「主催している料理教室では、野菜の皮を使用する、適量の食材を使用する等ごみを出さないようにしている」と感想が寄せられるなど好評でした。今後も、出席者が楽しめる有意義な研修交流会となるように工夫していきたいです。



取組項目：登録の推進や研修会等による食育推進ボランティアの育成(取組場面：地域)

食生活改善推進員育成

清須市健康推進課

- 実施時期：通年
- 対象者：清須市食生活改善推進協議会会員
- 内容

清洲地区（にんじん）、西枇杷島地区（とまと）の2つのグループのそれぞれの定例会で、保健師、管理栄養士、歯科衛生士による出前講座を実施しています。

また、会の運営がスムーズに進むよう、随時支援しています。会員が作成・栄養計算したレシピの中からおすすめのレシピを管理栄養士のコメントとともに、毎月市広報に掲載しています。

●活動の成果、今後の課題

令和3年度加わった新規会員が意欲的に活動できるよう助言を行っています。コロナ禍で、食生活改善推進員が講師となる出前講座やイベントの回数が減っているため、今後の活動の方向性について共に考えています。



取組項目：食生活改善推進員を対象とした講習会の開催(取組場面：地域)

食育啓発用グッズの作成

西尾市農水振興課

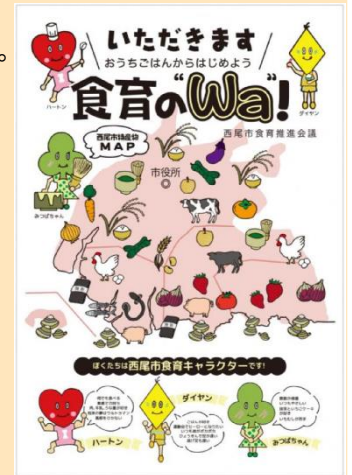
- 実施時期：通年
- 対象者：市民
- 内容

食育推進や食育事業での活用を目的とし、食育啓発用グッズを作成しました。西尾市で栽培されている農畜水産物をより周知するべく、西尾市の特産物マップを掲載しました。また、西尾市食育キャラクターの認知度向上を目的とし、食育キャラクターの紹介を掲載し、活用出来る下敷きにしました。例年クリアファイルを作成していましたが、今年度は下敷きを作成しました。

●活動の成果、今後の課題

料理教室や食育に関するイベント等で、参加者に配布しました。西尾市内では、どんな農畜水産物がどこで生産されているのかなどが分かり、地元農畜水産物について学び、地産地消を意識してもらう良い機会になりました。

今後も、西尾市の特産物や食育に関する情報を周知できるような、啓発用グッズを作成していきたいと考えています。



取組項目：食育推進資料・食育グッズの作成や各種調査(取組場面：地域)

2 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

「おいしい」は元気の素（一般書テーマコーナーでの特集）

刈谷市（教育部生涯学習課中央図書館）

- 実施時期：8月28日～9月23日
- 対象者：図書館来館者
- 内容

9月のテーマとして食育に関する本を集めてコーナーを設けました。

啓発用のリーフレットとともに所蔵資料を並べているため、貸出券を所持している利用者は、本を借りることもできます。コーナーの資料が減った場合は、随時補充するよう努めました。

●活動の成果、今後の課題

読書推進と食育推進の相乗効果が見込めると考えられます。

テーマコーナーは、毎月更新していること、食に関する図書が豊富であることから、図書館内における業務はスムーズでした。

●連携について(連携先：福祉健康部健康推進課)

前年度、健康推進課の担当者から、連携の打診がありました。他のテーマでも共催した前例があったため、協力体制が築きやすかったものと考えられます。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供
(取組場面：地域)

3 いいともあいち運動の推進と充実

「いいともあいちネットワーク」、 「いいともあいち推進店」 への
参加申込、登録推進

愛知県知多農林水産事務所農政課

●実施時期：通年

●対象者：知多管内の事業者、県産農林水産物を扱う販売店及び飲食店

●内 容

「いいともあいち運動」のより一層の推進を図るために、地元の事業者やお店をよく知る管内の市町の協力を受けながら「いいともあいちネットワーク会員」及び「いいともあいち推進店」の新規勧誘を行いました。

具体的には、市町担当者による促進、県へ先方担当者の紹介、県担当者訪問時に同行という協力を受けました。

また、商談会等のイベントに出張し、出展者への促進を行いました。

●活動の成果、今後の課題

ネットワーク会員、推進店ともに、大きく増加することができ、特に推進店の新規登録数は、昨年度14店に対し、今年度は40店（2月末時点）と大きく伸ばすことができました。

課題としては、特定の市町中心となっているため、管内全市町に広げる必要があります。

●連携について(連携先：常滑市、大府市、美浜町)

昨年度、美浜町と一緒に「いいともあいち推進店」の登録を促進した結果、新規登録の増加という成果が出たため、今年度は他の市町にも同様に協力を御願いました。



取組項目：いいともあいち推進店の拡充など県産品の購入・消費の機会の拡大
(取組場面：地域)



「いいともあいち運動」って知ってる？

県内の消費者と生産者が
今まで以上にいい友関係になる

[Eat more Aichi products]
(イート モア アイチ プロダクツ)

もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)



IV 県や関係団体の取組一覧

2021年度に県や関係団体などが実施した、食育の取組で報告のあった268件の一覧は次のとおりです。「Ⅲ 2021年度の主な取組の状況」で紹介した取組以外の各取組の詳細については、愛知県食育消費流通課までお問い合わせください。

食を通じて健康な体をつくる 		
ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市	乳幼児健康相談	
稲沢市保健センター	1歳児、2歳児・2歳6か月児歯科健康診査時の集団栄養指導	9
尾張旭市	離乳食教室	
清須市健康推進課	乳幼児健康診査（1歳6か月児・3歳児）	
清須市健康推進課	乳幼児健康相談	
清須市健康推進課	離乳食講習会	
東郷町健康推進課	離乳食教室	
刈谷市 中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	おやつレシピ紹介及び配布	
刈谷市 中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	10
刈谷市 中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	離乳食レシピの回覧及び配布	
豊川市保健センター	離乳食を始める前に（4ヶ月児健診の場を活用）	10
愛知県国公立幼稚園・こども園長会（西尾市立鶴城幼稚園）	しいたけを育ててみよう	11
愛知県国公立幼稚園・こども園長会（名古屋市立比良西幼稚園）	おいしく食べて みんなにここにこ	11
春日井市 第二保育園	食育指導、野菜栽培、今日の給食 歯みがき指導	
春日井市 瑞穂保育園	「ここはぴの日」 ～からだげんきでこころもはっぴーに！～	
尾張旭市 川南保育園	ピースご飯のグリーンピースの皮むき	
清須市子育て支援課	望ましい食習慣	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
東郷町 中部保育園	東郷町産の食材を収穫し、給食で食べてみよう	
碧南市内の保育園・幼稚園15園	地域で育った食材に親しみを持ち、食べる	
碧南市内の保育園・幼稚園15園	「碧南人参の日」に合わせた「へきなん美人」メニューの給食提供	12
碧南市社会福祉協議会 棚尾保育園	食育活動「空豆」	
碧南市 へきなんこども園	献立について	
愛知県栄養教諭研究協議会	学校で使用する食育教材「あいちの農産物資料集」の作成	12
東郷町給食センター	学級訪問栄養士指導（小学生）	
東郷町給食センター	学級訪問栄養士指導（中学生）	
東郷町給食センター	保育園児を対象とした食育の取り組み	
東浦町給食センター及び各小学校	地元の旬を味わう学校給食の日	
南知多町教育委員会	食に関する指導	
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	家庭科授業「どんな食事がよいのか考えようの学習」	
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	小学校2年生を対象とした給食訪問指導「食まるパワーのひみつを知ろう」	
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	「食生活に関するアンケート」の実施	
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	学校教育支援事業（出前講座）	13
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
碧南市立大浜小学校、日進小学校	碧南市地産地消推進協議会自主事業「ニンジン講習会」	13
西尾市産業部農水振興課	良いきゅうりの日～ふれあい授業と学校給食への寄贈～	14
長久手市	給食センター施設見学試食会	
長久手市	給食だよりの発行	
尾張旭市、尾張旭市教育委員会	健康朝食メニュー「簡単！グッドバランス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」（コンテスト）	14
したら保健福祉センター・いきいきしたら計画 こども部会	「朝ごはんありがとう」普及啓発チラシの配布	
豊田市	高校生を対象とした食育講座の実施	15

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市食育推進専門部会	男子自立クッキング	
安城市	地産地消啓発イベント（愛知県立安城農林高等学校）	
尾張旭市	ヤングのうちから健康みつめ隊	
津島市	YouTubeによる食育の発信	
安城市	名古屋文理大学との連携事業	
みよし市	食育講演会	
東海市市民福祉部健康推進課	地元スーパーと協働で開発した健康弁当を販売。 中食での食生活改善の取組	15
春日井市	離乳食教室（You Tubeでの動画配信）	
春日井市	パパママ教室	
春日井市	妊産婦ケア事業	
尾張旭市	妊産婦栄養教室 だし活のすすめ～おうちで和食～	
清須市健康推進課	パパママ教室	
刈谷市	令和3年度子育てカレッジ 「食べるということ～発酵食品で免疫力アップ～」	16
豊川市保健センター	もうすぐ3歳！知っ得教室	
尾張旭市 長寿課	シニアのための栄養講座	
尾張旭市	骨コツヘルスアップ教室	
日進市健康課	高齢者のフレイル予防対策事業（栄養・歯科）	16
東郷町	65歳の方のための出張講座 「シニア世代に必要な食事～低栄養予防って？～」	
東郷町	フレイル予防教室「これで体丈夫教室」	
半田市保健センター	出前講座	
碧南市健康推進部健康課	高齢者への骨粗鬆症予防レシピ配布と試食	
刈谷市	高齢男性を対象とした栄養教室	17
富士松市民センター	市民講座	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市教育委員会生涯学習課	市民講座	
春日井市	春日井市配食サービス利用助成事業	
長久手市	長久手市「食」の自立支援事業	

生活習慣病予防や適正体重維持の推進		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (半田市立成岩幼稚園)	親子歯科指導	
一般社団法人愛知県歯科医師会	第11回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	17
春日井市 柏原保育園	歯みがき指導	
清須市子育て支援課	健康づくり	
北名古屋市保健センター	歯みがき指導	18
愛西市立保育園(佐屋北・佐屋中央・佐織)	栄養指導【よく噛んでたべよう】	
尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場	18
尾張旭市	糖尿病重症化予防教室 STOP!糖尿病	
岩倉市	資料配信による疾患予防のための栄養教室	
岩倉市	骨粗しょう症予防講習会	
蟹江町	コロナワクチン集団接種会場での野菜摂取量増加の普及啓発	19
尾張旭市	知って得する!健康プラス教室	
半田市保健センター	健康サポーター養成講座	
生活協同組合コープあいち	『BDHQ』・『ベジチェック』を使った食を通じた健康づくり支援	19
食育消費流通課	野菜を手軽に、たっぷりたべよう!干し野菜調理講習会	20
尾張旭市	令和3年度食生活改善普及運動	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
大府市健康増進課	こども料理コンクールビストロおぶちゃん	20
知多市健康推進課	食育の日啓発キャンペーン	
知多市健康推進課	野菜を食べようプロジェクト 「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」	
安城市	旬の食材を使用したレシピの提供	

食の安全・安心に関する信頼の構築

取組主体、団体名	取組名称	ページ
県民生活課	消費生活モニターに対する情報提供	21
一般社団法人愛知県薬剤師会	健康食品に関する情報提供	
尾張旭市	食育推進講演会及び学校給食試食会	
尾張旭市	給食センター見学	
飛島村教育委員会教育課	減農薬給食	
尾張旭市	あさびースマイル給食	
日進市こども課	保育園給食献立表への食物アレルギー啓発記事の掲載	
東郷町 たかね保育園	食物アレルギーからこどもを守る	
岡崎市	食物アレルギーに対する理解を深める	21
碧南市 へきなんこども園	除去食	
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	
碧南市 かしの木保育園	年長児野菜畑	

食を通じて豊かな心を育む



食を楽しむゆとりの積極的な確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市 第三保育園	野菜の栽培	
春日井市 高座保育園	びわの栽培	
春日井市 坂下北保育園	環境指導 ～食育～	
春日井市 上八田保育園	食育の日、展示食、野菜栽培	
春日井市 白山保育園	食材を分類し、食への興味や関心を高める	
春日井市 勝川北部保育園	乳幼児への食育指導	
春日井市 牛山保育園	保護者、園児に向けた給食の展示	
春日井市 藤山台保育園	野菜の栽培	
春日井市 小野保育園	友だちや保育士と一緒に楽しく食べよう	22
春日井市 味美保育園	食育計画	
春日井市 岩成台保育園	野菜の栽培	
春日井市 下津保育園	みんなで楽しく、何でも食べる	
春日井市 大手保育園	食育の日	
尾張旭市 柏井保育園	おやつでの食育活動	23
尾張旭市 西部保育園	調理体験	
日進市こども課	食材に親しむ体験の実施	
東郷町 音貝保育園	畑からみんなのおくちへ	
碧南市社会福祉協議会 西端保育園	「和食の日」に合わせた「だし」の給食提供	23
碧南市社会福祉協議会 大浜保育園	福笑いライスを作って、日本の伝統的な遊びに触れよう	
碧南市 第2へきなんこども園	野菜作り体験	
碧南市 鷺塚保育園	食材や食べることへの興味関心を育む皮むき体験	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市 双葉保育園	給食サンプル、夏野菜・サツマイモ等の栽培と収穫	
刈谷市 さくら保育園	野菜を栽培、収穫してみんなで食べよう！	
高浜市 吉浜保育園	さんまパーティー	
岩倉市	「シェフのスペシャルメニュー」	
常滑市	第2弾!!コロナに負けるな！こどもスマイル応援事業	
岡崎市	授業「給食はなぜ食べるのだろうか」の実施	24
知立市	親子クッキングと食育ボランティアの紹介（広報での啓発）	24
幸田町	「幸田駅前銀座OMOTENASHIマルシェ」 ～今日の晩ごはんを応援～	25
安城市	地元農畜産物通販サイト「おいしいあじょう」	25
高浜市 健康づくり推進委員	インスタグラムを利用した情報発信	26
東郷町 南部保育園	食育だより	26

体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (知多市立東部幼稚園)	カレーパーティー「育てた野菜で食育！」	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (碧南市立西端幼稚園)	ふれあい農園による野菜作り体験と地区高齢者との交流	
春日井市 第一保育園	野菜を育ててみよう	
春日井市 西部保育園	わくわく菜園	
春日井市 玉川保育園	野菜の栽培・収穫、地域交流	
春日井市 出川保育園	夏野菜の栽培と収穫	
春日井市 坂下南保育園	野菜の栽培・収穫体験 地域交流	
春日井市 外之原保育園	野菜の栽培・収穫体験や、地域の方の畑での収穫体験	
春日井市 松原保育園	サツマイモの栽培・実食	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市 神領保育園	野菜の栽培	
春日井市 前並保育園	食育指導・野菜の栽培	
春日井市 貴船保育園	野菜の栽培・収穫体験	
春日井市 柏原西保育園	野菜の栽培	
尾張旭市 あたご保育園	野菜の栽培、調理等体験	
尾張旭市 中部保育園	大根の栽培（栽培・体験）	
尾張旭市 西山保育園	野菜の栽培	
尾張旭市 藤池保育園	さつまいもの栽培及び調理体験	
尾張旭市 本地ヶ原保育園	栽培した野菜の収穫	
清須市産業課	保育園さつまいも収穫体験	
清須市産業課	保育園宮重大根収穫体験	
清須市子育て支援課	食事への興味・関心	
東郷町 和合保育園	米作り体験から食の大切さを知る	27
佐屋中央保育園	クッキング保育	
武豊町 産業課・子育て支援課	畑に行こう！ in富貴保育園	27
碧南市 羽久手保育園	ふれあい農園での芋掘り	
碧南市 新川幼稚園	幼稚園で野菜を育てよう	
碧南市 西端幼稚園	ふれあい農園による野菜作り体験と地区高齢者との交流	
碧南市 大浜幼稚園	夏野菜の栽培	
碧南市 築山保育園	皆で野菜を育てよう	
二葉乳幼児福祉会 二葉保育園	野菜の栽培体験	
碧南市 日進保育園	そらまめの皮むき体験	
碧南市 鷺塚保育園	地域の方と触れ合う収穫体験	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
碧南市 へきなんこども園	家庭菜園・稲作	
刈谷市 小高原幼稚園	みんなで野菜を育てよう	
刈谷市 富士松北幼稚園	J Aあいち中央と連携しての大根栽培	28
刈谷市 富士松南保育園	野菜を育てよう	
刈谷市 富士松北保育園	栄養たっぷりの土づくりから、おいしい野菜を育てて食べよう！	
刈谷市 日高保育園	野菜の栽培と食育	
刈谷市 かりがね保育園	野菜を栽培。収穫して食べよう	
高浜市 吉浜さんさん保育園	さつまいもを栽培・収穫してみんなで食べよう	
高浜市 認定こども園 たかとりこども園	栽培・クッキング	
蒲郡市子育て支援課	夏の野菜を知ろう！育てよう！食べてみよう！	
田原市農政課	食育講座	
愛知県食生活改善推進員協議会<蒲郡市健康づくり食生活改善協議会>	愛知県親子の食育推進普及事業 蒲郡市健康フェスティバル「ひとねる祭」	28
愛知県食生活改善推進員協議会<知多市健康づくり食生活改善協議会>	愛知県親子の食育推進普及事業 知多市「親子ケーキ作り教室」	
愛知県食生活改善推進員協議会<東海市健康づくり食生活改善協議会>	愛知県親子の食育推進普及事業 東海市「親子料理教室」	
一宮市保健所 健康支援課	こどもクッキングいちのみや	
尾張旭市	夏休み！親子で探検給食センターわくわくツアー	
愛知淑徳大学（大学連携協働事業）、日進市市民協働課	提案型大学連携協働事業 「みんなで学ぼう！栄養+お料理教室」業務委託	
愛西市教育委員会	親子教室	
蒲郡市農林水産課	親子魚料理教室	
西尾市産業部農水振興課	米づくり体験授業	
新城市	ほうれん草農家視察	29
蒲郡市農林水産課	蒲郡子ども農業教室	29
愛知県教育委員会、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	あったらいいなこんな給食	
岡崎市	学校給食メニューコンクール	30
刈谷市	地元の食材を使って親子で作ろう！「麺探偵コナ（粉）ン 金色の小麦（ウィート）～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト	
西尾市産業部農水振興課	僕・私を作る！アイデア朝ごはんコンテスト	
一般社団法人愛知県薬剤師会	あいち健康の森薬草園イベント	30
日本労働組合総連合会愛知県連合会	連合愛知30周年事業ここあファーム『親子de農体験』	
日進市農政課	日進アグリスクール（農学校）の開催	
清須市産業課	レジャー農園、市民農園	
刈谷市	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
西尾市産業部農水振興課	親子で稲刈り体験とおはぎづくりに挑戦！	
豊川市産業環境部農務課	第9回とよかわおもてなしレシピグランプリ！	
名古屋外国語大学（大学連携協働事業）、 日進市農政課、日進市市民協働課	提案型大学連携協働事業 食文化継承に向けた食育の推進～比較文化論的観点から～業務委託	31

日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

取組主体、団体名	取組名称	ページ
飛島村・飛島村健康づくり食生活改善協議会	すくすく教室	
春日井市 桃山保育園	食育の日～楽しく食べる元気な子～	
春日井市 追進保育園	食育指導	
清須市子育て支援課	人間関係とマナー	
保健体育課	愛知を食べる学校給食の日	31
弥富市小中学校	愛知を食べる学校給食の日	
あま市	「愛知を食べる学校給食の日」の実施	
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
西尾市産業部農水振興課	愛知を食べる学校給食の日 ～ J A 西三河から新鮮野菜寄贈～	
豊橋市教育委員会	愛知を食べる学校給食の日	32
蒲郡市学校給食課	「愛知を食べる学校給食の日」の実施	
大口町	本とからめた食育と和食の啓発	
園芸農産課	ミニトマトの魅力発見と漬け込み体験	32
尾張旭市	農政講座「米粉ピザ作り」「押し寿司講座」「みそ作り」	
日進生活改善実行グループ・日進市農政課	伝承料理レシピの紹介	
清須市産業課	小学校宮重大根栽培収穫体験	
清須市産業課	農業体験塾	
扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	
岡崎市	食文化継承料理講習会	33
西尾市産業部農水振興課	地産地消！うどんを打とう	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！コンニャクをつくろう	

食を通じて環境に優しい暮らしを築く



食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
環境活動推進課	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
環境調査センター	中高年・シニア環境学習推進事業	
資源循環推進課	食品ロス削減環境学習プログラムを活用したモデル授業の実施	34
刈谷市教育委員会教育総務課学校給食センター	中学校1年生を対象とした給食訪問	
日進市環境課	無農薬・有機栽培お米作りの1年を体験しよう	35
刈谷市	かりやエコフレンドリー事業（第5回）エコ料理講座	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	家庭用生ごみ処理機等購入補助	
県民生活課	エシカル消費普及啓発事業	35
県民生活課	消費生活情報「あいち暮らしっく」の発行	
資源循環推進課	食品ロス削減イベントの開催	
尾張旭市	3キリ運動	
あつまれ！わんぱくECOチャレンジ班（中部大学現代教育学部幼児教育学科学生）、春日井市環境政策課	環境問題啓発ポスター（食品ロス・リサイクル・節水）による啓発	
日進市環境課	フードドライブの実施	
東郷町環境課	フードドライブ	36
岡崎市	食品ロス削減の啓発	

農林水産業への理解と地産地消の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
J A 愛知中央会	農業教育用資料「愛知の農業」（冊子・DVD）の作成・配布	36
農地計画課	あいちの農業用水展	
農地計画課	農地・水・環境のつどい	37
愛知県栄養教諭研究協議会	県産畜水産物提供事業を利用した学校給食の献立作成と献立を活用した食育	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会	学校給食への地場食材利用拡大	37
尾張旭市	ふれあい給食	
愛西市教職員会 栄養教諭部会	あいさいさん☆給食コンクール	
阿久比町	「愛知を食べる学校給食の日」	
豊橋市教育委員会	農家インタビュー	
水産課	「あいちのおさかなカードキャンペーン」の実施	
安城市	旬の食材を使用したメニューの販売	38

取組主体、団体名	取組名称	ページ
安城市	地産地消の啓発	
安城市	S N Sを利用した食育啓発事業	
みよし市	産直マップの配布	
愛西市役所産業振興課 及び 愛西市教職員会・栄養教諭部会	「あいさいさん☆給食コンクール」レシピ集の発行	38
西尾市産業部農水振興課	道の駅にしお岡ノ山「西尾の抹茶」アイデアレシピコンテスト	39

農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
水産課	県内における資源管理の促進	39
日本労働組合総連合会愛知県連合会	連合愛知30周年事業ここあファーム	40
小牧市	ドライブスルー型「フードドライブ」の実施	

食育を支える



食育にかかる人材の育成と活動の充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
碧南市 へきなんこども園	食育カリキュラム	
名古屋学芸大学（大学連携協働事業）・日進市農政課・日進市市民協働課	日進おいしいお宝マップ～みんなのまた〇〇したい町～（子ども発信型食育教材の開発）	
碧南市健康推進部健康課	行政管理栄養士の実習生による栄養講話	
安城市	愛知学泉大学との連携事業	41
愛知県知多農林水産事務所農政課	令和3年度知多地域食育推進ボランティア研修交流会	42
長久手市	地域の活動拠点の提供	
岩倉市	岩倉市食の健康づくり推進員研修会	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
清須市健康推進課	食生活改善推進員育成	42
水産課	料理講習会による魚食普及活動	
豊明市	とよあけヘルシーレシピの啓発	
名古屋学芸大学（大学連携協働事業）、日進市健康課、日進市市民協働課	提案型大学連携協働事業 大学生による（若年成人へ）食育推進のための「ヘルピー健康だより」の作成業務委託	
西尾市産業部農水振興課	食育啓発用グッズの作成	43

多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市教育部生涯学習課 中央図書館	「おいしい」は元気の素（一般書テーマコーナーでの特集）	43

いいともあいち運動の推進と充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県知多農林水産事務所農政課	「いいともあいちネットワーク」、「いいともあいち推進店」への参加申込、登録推進	44



V 食育推進に関する問い合わせ先

◎愛知県

名 称	電話・ファクシミリ	Eメール・URL
農業水産局農政部 食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/
保健医療局健康医務部 健康対策課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6271 FAX 052-954-6917	E-mail kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/
教育委員会事務局学習教育部 保健体育課 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail hoken-taiiku@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/

◎関係団体等

名 称	電 話	Eメール・URL
愛知県栄養教諭研究協議会	-	https://www.aichi-ek.com/
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	https://www.aikeikyo.com/
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-961-5506	(問合せ先 名古屋市立第一幼稚園)
愛知県小中学校PTA連絡協議会	052-251-8820	http://www.aichi-syoucyuu-p.com/
愛知県小中学校長会	052-261-8152	http://aikochu.ec-net.jp/
愛知県食生活改善推進員協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	https://www.chu.aichi-ja.or.jp/
愛知県農業経営士協会	052-954-6413	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	https://www.aichi8020.net/
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	http://kenaicho.la.coocan.jp/
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-953-4555	https://www.apha.jp/
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	http://aigaku.org/
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0203	http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4138	https://www.aichi.med.or.jp/
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	https://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	https://www.aichi-fukushi.or.jp/
生活協同組合コープあいち	052-703-6022	http://coopaichi.tcoop.or.jp/
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	https://www.rengo-aichi.or.jp/
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6396（ダイヤルイン）

E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp

Webサイト「食育ネットあいち」

<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>



ロゴマーク等デザイン

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



食育ネットあいち



<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>